

2020年度

事業報告書



学校法人 松山東雲学園

目次

| | |
|--|----|
| 理事長挨拶 | I |
| 1. 法人の概要 | |
| (1) 基本情報 | 2 |
| (2) 建学の精神 | 2 |
| (3) 学校法人の沿革 | 2 |
| (4) 設置学校等 | 4 |
| (5) 学校・学部・学科の入学定員、学生数等の状況 | 5 |
| (6) 役員の概要 | 6 |
| (7) 評議員の概要 | 7 |
| (8) 教職員の人数 | 8 |
| (9) 教職員の概要 | 9 |
| 2. 事業の概要 | |
| (1) 主な教育・研究の概要 | 10 |
| (2) 大学・短期大学 | 11 |
| (3) 高等学校・中学校・附属幼稚園・附属保育園 ・しのめ広場たんぼぼ | 20 |
| (4) 中長期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況 | 25 |
| (5) 主な事業 | 25 |
| (6) 自己点検評価 | 25 |
| (7) その他 | 26 |
| 3. 財務の概要 | |
| (1) 2020年度決算概要 | 27 |
| (2) 資金収支計算書 | 29 |
| (3) 活動区分資金収支計算書 | 30 |
| (4) 事業活動収支計算書 | 32 |
| (5) 事業活動収支の構成比率 | 34 |
| (6) 貸借対照表 | 35 |
| (7) 財産目録 | 36 |
| (8) 経年比較資料 | 38 |
| 4. 監事監査報告書 | |
| 監事監査報告書 | 46 |

※表紙の写真：D館から本館北、本館南及び淡路ヶ峠を望む。

理事長 挨拶

2020年度は当初計画を大幅に修正せざるを得ない事態が発生し、それに関連し、各費目において修正を余儀なくされました。まさに、コロナウイルスの世界的蔓延による影響です。本学においては、幸いにもキャンパス内において保育園、幼稚園、中学校・高等学校、短期大学、大学の感染者はなく、他大学と比べ、早い時期から対面授業を実施することができました。しかしながら、対外的にみると多くの行事が中止され、リモートによる開催に変更されました。そのため、学内のIT関連のバージョンアップや整備をしなければならなくなりました。また、当初の計画にない部分では、LEDの対応をせざるを得ませんでした。2019年度で蛍光灯器具の生産が終了し、2020年3月末で蛍光灯の生産が終了した関係から、LEDに早期に改修することがもともとめられ、桑原キャンパスの全器具をLED対応に切り替えました。2021年度には大街道キャンパスの対応を検討しなければなりません。

決算書を見ると、資金収支において2億1,146万円の支払資金が増加し、経常収支差額比率において、当初予算4.0%から11.8%と7.8%改善することができました。当初、目標とした私学事業団の経営判断指標A3を超え、A2を達成することができました。結果として大幅な改善となりましたが、内容をつぶさに見ると、やはりコロナウイルス感染による予算の未執行が大きな要因となっています。

一方、学園全体を俯瞰すると、なんといっても入学生の確保が足踏みしていることによる影響は大きく、場合によっては本学園の存続をも脅かしかねない状況にあります。何としてもひとりでも多くの学生が、この学園で学びたいと思う授業を展開しなければなりません。一人ひとりの教育力を向上させ、魅力ある授業を提供することが差し当たっての課題です。

今年度は予想以上に退職者が出ました。世代交代が進みつつある状況と理解できますが、教授職の確保は大学・短期大学の設置基準上大きなネックとなりかねません。幸い、時限立法ではありますが、特任教授規程が整備され3名の教授を2021年度から大学に迎えることができました。加えて、IT関連の整備も完了し、遠隔授業と対面授業もスムーズに進行しています。

今期の理事会任期の半分が過ぎました。2年目は、何とか広い教室に会議室を移し、予定の理事会や評議員会を開催することができました。お陰で中長期計画に掲げた多くの事項について一定の成果を出すことができました。しかし、未だ多くの課題を抱えている状況に変わりはありません。全力で理事会運営に取り組む所存ですので、皆様方の変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

学校法人 松山東雲学園
理事長 小西靖洋

1. 法人の概要

(1) 基本情報

- ① 法人の名称 学校法人 松山東雲学園
- ② 主たる事務所の住所、電話番号、FAX 番号、ホームページアドレス
 - ・住所：愛媛県松山市桑原3丁目2-1
 - ・電話番号：089-931-6211
 - ・FAX 番号：089-933-5559
 - ・ホームページアドレス：<https://www.shinonome.ac.jp/>

(2) 建学の精神

松山東雲学園の建学の精神は、「信仰・希望・愛」であらわされるキリスト教精神です。本学園はこの精神にもとづき、神を畏れ、神による希望に生き、神と隣人を愛する、自立した女性を育成する教育を目指します。

(3) 学校法人の沿革

- | | |
|-------------|--|
| 1886(明治19)年 | 松山第一基督教会の二宮邦次郎牧師により四国最初の女学校として松山女学校を設立(9月16日)。 |
| 1906(明治39)年 | 米国伝道局の管理に移されミッション・スクールとなる。 |
| 1918(大正7)年 | 松山女学校の校章を制定。 |
| 1920(大正9)年 | 校舎を松山市大街道三丁目二番地二四(旧赤十字病院跡)に移転。 |
| 1925(大正14)年 | 松山女学校の校歌を制定。 |
| 1932(昭和7)年 | 高等女学校令により校名を松山東雲高等女学校と改称。 |
| 1945(昭和20)年 | 松山空襲、校舎焼失。 |
| 1947(昭和22)年 | 松山東雲中学校を併設。 |
| 1948(昭和23)年 | 松山東雲高等学校と改称。 |
| 1952(昭和27)年 | 松山東雲カレッジを設立。 |
| 1957(昭和32)年 | 松山東雲栄養学院を設立。 |
| 1964(昭和39)年 | カレッジ、栄養学院を発展的に解消し食物科の短期大学として発足。二宮源兵、初代松山東雲短期大学学長に就任。松山東雲短期大学の開学式を行う。 |
| 1966(昭和41)年 | 松山東雲短期大学に家政科、保育科、英文科の3学科を新設。 |
| 1967(昭和42)年 | 松山東雲短期大学の学歌を制定。 |
| 1968(昭和43)年 | 松山東雲短期大学に附属幼稚園を設立。 |
| 1976(昭和51)年 | 松山東雲学園創立90周年。 愛真館(チャペル・図書館)献堂式を行う。 |
| 1984(昭和59)年 | 松山東雲短期大学に秘書科を新設。 |
| 1986(昭和61)年 | 松山東雲学園創立100周年。 100周年記念館の献堂式を行う。 |

| | |
|-------------|--|
| 1987(昭和62)年 | 食物科と家政科を統合・改組して生活科学科を新設。 |
| 1988(昭和63)年 | 米国ボストンの伝統校ラセル大学と姉妹校提携を行い、短期体験留学による相互交流を開始。 |
| 1989(平成元年) | 最新情報処理システムの導入をはじめとした教育研究設備を備え、シンボルタワーを配した校舎D館落成。 |
| 1991(平成3)年 | 生涯学習時代に対応して、松山東雲学園オープンカレッジを開設。 |
| 1992(平成4)年 | 松山東雲女子大学人文学部(人間文化学科・言語文化学科)を開学。岡本道雄、初代松山東雲女子大学学長に就任。 |
| 1998(平成10)年 | 松山東雲女子大学人文学部言語文化学科を国際文化学科に名称変更。 |
| 1999(平成11)年 | 松山東雲女子大学人文学部に人間心理学科を新設。 |
| 1999(平成11)年 | 松山東雲短期大学生活科学科生活環境専攻を生活デザイン専攻に名称変更。 |
| 1999(平成11)年 | 松山東雲短期大学生活科学科生活文化専攻を生活文化学科へ昇格。 |
| 1999(平成11)年 | 松山東雲短期大学英文科を募集停止。 |
| 2001(平成13)年 | オープンカレッジを発展的に解消し、松山東雲エクステンションセンターを開設。 |
| 2002(平成14)年 | 松山東雲短期大学に専攻科福祉専攻を新設。 |
| 2004(平成16)年 | 学生のキャリア形成支援の拠点としてキャリアサポートセンターを開設。 |
| 2007(平成19)年 | 松山東雲女子大学人文学部を人文科学部とし、心理子ども学科・国際文化学科を新設。 |
| 2008(平成20)年 | 松山東雲短期大学生活文化学科を「介護福祉士」養成に特化し、生活科学科介護福祉専攻として改編。 |
| 2009(平成21)年 | 松山東雲短期大学専攻科福祉専攻を廃止。 |
| 2011(平成23)年 | 松山東雲学園創立125周年。 松山東雲短期大学生活科学科生活デザイン専攻を廃止。 |
| 2012(平成24)年 | 松山東雲女子大学開学20周年。 |
| 2014(平成26)年 | 松山東雲短期大学開学50周年。 松山東雲短期大学秘書科を現代ビジネス学科に名称変更。 |
| 2016(平成28)年 | 松山東雲学園創立130周年 |
| 2017(平成29)年 | 松山東雲短期大学生活科学科食物栄養専攻を食物栄養学科に名称変更。 松山東雲短期大学附属幼稚園を松山東雲学園附属幼稚園に名称変更。 松山東雲学園附属幼稚園新園舎竣工。 |
| 2018(平成30)年 | 松山しなのめ学園附属保育園園舎竣工。 松山しなのめ学園附属保育園を開設。 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学A館を竣工。 |
| 2019(令和元年) | クローバー広場の拡張及びアクセス道路の改修 |

(4) 設置学校等 [2020(令和2)年5月1日現在]

- ① 松山東雲女子大学 [開学年月：1992(平成4)年4月]
所在地 愛媛県松山市桑原3-2-1
学長 高橋 圭三
学部等 人文科学部 心理子ども学科 [子ども専攻、心理福祉専攻]
- ② 松山東雲短期大学 [開学年月：1964(昭和39)年4月]
所在地 愛媛県松山市桑原3-2-1
学長 高橋 圭三
学科等 保育科 現代ビジネス学科 食物栄養学科
- ③ 松山東雲高等学校 [開校年月：1948(昭和23)年4月]
所在地 愛媛県松山市大街道3-2-24
校長 徳永 晴樹
課程等 全日制課程 普通科
- ④ 松山東雲中学校 [開校年月：1947(昭和22)年4月]
所在地 愛媛県松山市大街道3-2-24
校長 徳永 晴樹
- ⑤ 松山東雲学園附属幼稚園 [開園年月：1968(昭和43)年4月]
所在地 愛媛県松山市桑原3-2-7
園長 小西 靖洋
- ⑥ 松山しのめ学園附属保育園 [開園年月：2018(平成30)年9月]
所在地 愛媛県松山市桑原3-2-1
園長 小西 靖洋

(5) 学校・学部・学科の入学定員、学生数等の状況 [2020(令和2)年5月1日現在]

① 松山東雲女子大学 人文科学部

(単位:人)

| 学年 | 心理子ども学科 | | | | 計 | | 学年 | 国際文化学科 | |
|----|--------------------|-----|---------------------|-----|-----|-----|----|--------|----|
| | 子ども専攻 [編入学定員:5] | 現員 | 心理福祉専攻 [編入学定員:5] | 現員 | 定員 | 現員 | | 定員 | 現員 |
| 1年 | 50 | 58 | 60 | 38 | 110 | 96 | 1年 | — | — |
| 2年 | 50 | 38 | 60 | 51 | 110 | 89 | 2年 | — | — |
| 3年 | 55 | 51 | 65 | 61 | 120 | 112 | 3年 | — | — |
| 4年 | 55 | 60 | 65 | 44 | 120 | 104 | 4年 | — | 1 |
| 計 | 210 | 207 | 250 | 194 | 460 | 401 | 計 | 0 | 1 |

松山東雲女子大学 総計 定員 460 現員 402

② 松山東雲短期大学

(単位:人)

| 学年 | 保 育 科 | | 現代ビジネス学科 | | 食物栄養学科 | | 計 | |
|----|-------|-----|----------|-----|--------|-----|-----|-----|
| | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 | 定員 | 現員 |
| 1年 | 100 | 89 | 70 | 76 | 80 | 78 | 250 | 243 |
| 2年 | 100 | 103 | 70 | 75 | 80 | 70 | 250 | 248 |
| 計 | 200 | 192 | 140 | 151 | 160 | 148 | 500 | 491 |

③ 松山東雲高等学校 (普通科)

(単位:人)

| 学年 | 募集人員 | 現 員 |
|----|------|-----|
| 1年 | 140 | 106 |
| 2年 | 140 | 97 |
| 3年 | 140 | 94 |
| 計 | 420 | 297 |

④ 松山東雲中学校

(単位:人)

| 学年 | 募集人員 | 現 員 |
|----|------|-----|
| 1年 | 50 | 36 |
| 2年 | 50 | 32 |
| 3年 | 50 | 32 |
| 計 | 150 | 100 |

⑤ 松山東雲学園附属幼稚園

(単位:人)

| 年 齢 | 学級数 | 現 員 |
|----------|-----|-----|
| 満3歳児 | 1 | 6 |
| 3歳児 | 2 | 56 |
| 4歳児 | 2 | 64 |
| 5歳児 | 2 | 70 |
| 収容定員 現員計 | 190 | 196 |

⑥ 松山しなのめ学園附属保育園

(単位:人)

| 年 齢 | 定 員 | 現 員 |
|----------|-----|-----|
| 0歳児 | 7 | 2 |
| 1歳児 | 6 | 7 |
| 2歳児 | 6 | 8 |
| 収容定員 現員計 | 19 | 17 |

松山東雲学園 総計 定員 1,739 現員 1,503

⑦ 定員充足率

| | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 大 学 | 85.4% | 88.7% | 88.5% | 87.8% | 87.4% |
| 短期大学 | 100.7% | 100.6% | 110.4% | 105.0% | 98.2% |
| 高等学校 | 72.1% | 80.5% | 76.9% | 75.5% | 70.7% |
| 中 学 校 | 60.7% | 64.0% | 64.7% | 70.7% | 66.7% |

(6) 役員の概要

① 理事定数：9名以上12名以内 現員11名

② 理事名簿

2020年5月26日現在

| No. | 氏名 | 就任年月日 | 常勤・非常勤 | 主な現職等 |
|-----|------|-----------|--------|---------------------------|
| 1 | 小西靖洋 | 2019年4月1日 | 常勤 | 理事長 |
| 2 | 高橋圭三 | 2019年4月1日 | 常勤 | 大学・短期大学 学長 |
| 3 | 亀岡篤 | 2019年4月1日 | 常勤 | 大学副学長 |
| 4 | 桐木陽子 | 2019年4月1日 | 常勤 | 短期大学副学長 |
| 5 | 徳永晴樹 | 2019年4月1日 | 常勤 | 高等学校・中学校 校長 |
| 6 | 大石尊 | 2019年4月1日 | 常勤 | 法人事務局長 |
| 7 | 山内司 | 2019年4月1日 | 常勤 | 大学事務局長 |
| 8 | 田中洋子 | 2019年4月1日 | 常勤 | 附属幼稚園 副園長 |
| 9 | 烏谷紀興 | 2019年4月1日 | 非常勤 | 烏谷紀興税理士事務所 税理士 |
| 10 | 平尾由紀 | 2019年4月1日 | 非常勤 | 社会保険労務士法人 人的資源研究所 代表社員 |
| 11 | 塩崎桂 | 2019年4月1日 | 非常勤 | 愛媛県商工会議所連合会 事務局長 |

③ 監事定数：2名 現員2名

④ 監事名簿

| No. | 氏名 | 就任年月日 | 常勤・非常勤 | 主な現職等 |
|-----|-----|-----------|--------|-------------|
| 1 | 森正康 | 2019年6月1日 | 非常勤 | 短期大学 名誉教授 |
| 2 | 成松勲 | 2019年4月1日 | 非常勤 | 成松会計事務所 税理士 |

(7) 評議員の概要

① 評議員定数：19名以上25名以内 現員23名

② 評議員名簿

2020年5月26日現在

| No. | 氏名 | 就任年月日 | 主な現職又は選出母体等 |
|-----|-------|------------|------------------------|
| 1 | 小西靖洋 | 2019年4月1日 | 理事長 |
| 2 | 高橋圭三 | 2019年4月1日 | 大学・短期大学 学長 |
| 3 | 亀岡篤 | 2019年4月1日 | 大学 副学長 |
| 4 | 桐木陽子 | 2019年4月1日 | 短期大学 副学長 |
| 5 | 徳永晴樹 | 2019年4月1日 | 高等学校・中学校 校長 |
| 6 | 大石尊 | 2019年4月1日 | 法人事務局長 |
| 7 | 山内司 | 2019年4月1日 | 大学事務局長 |
| 8 | 水代仁 | 2019年4月1日 | 大学・短期大学の教員 |
| 9 | 越智学 | 2019年4月1日 | 高等学校・中学校の教員 |
| 10 | 石川さゆり | 2019年4月1日 | 事務職員 |
| 11 | 篠崎英代 | 2019年4月1日 | 同窓生 |
| 12 | 二神秀美 | 2019年4月1日 | 同窓生 |
| 13 | 沖尚子 | 2019年4月1日 | 同窓生 |
| 14 | 黒河良子 | 2019年4月1日 | 同窓生 |
| 15 | 松本由美 | 2019年4月1日 | 同窓生 |
| 16 | 本宮三子 | 2019年5月28日 | 学校に在籍する学生・生徒等の父母又は保護者 |
| 17 | 泉田勝志 | 2019年5月29日 | 学校に在籍する学生・生徒等の父母又は保護者 |
| 18 | 矢野公喜 | 2019年4月24日 | 学校に在籍する学生・生徒等の父母又は保護者 |
| 19 | 上島一高 | 2019年4月1日 | 日本基督教団松山教会に属する信徒 |
| 20 | 烏谷紀興 | 2019年4月1日 | 烏谷紀興税理士事務所 税理士 |
| 21 | 田中洋子 | 2019年4月1日 | 附属幼稚園 副園長 |
| 22 | 平尾由紀 | 2019年4月1日 | 社会保険労務士法人 人的資源研究所 代表社員 |
| 23 | 塩崎桂 | 2019年4月1日 | 愛媛県商工会議所連合会 事務局長 |

(8) 教職員の人数 [2020(令和2)年5月1日現在]

① 専任教員等

【松山東雲女子大学 人文科学部】 (単位：人)

| | 学 長 | 教 授 | 准教授 | 講 師 | 助 教 | 計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 学 長 | 1 | — | — | — | — | 1 |
| 心理子ども学科 | — | 9 | 8 | 4 | 1 | 22 |
| 合 計 | 1 | 9 | 8 | 4 | 1 | 23 |

【松山東雲短期大学】 (単位：人)

| | 教 授 | 准教授 | 講 師 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|----|
| 保 育 科 | 5 | 2 | 3 | 10 |
| 現代ビジネス学科 | 4 | 0 | 1 | 5 |
| 食物栄養学科 | 2 | 3 | 2 | 7 |
| 合 計 | 11 | 5 | 6 | 22 |

【松山東雲高等学校・松山東雲中学校】 (単位：人)

| 校 長 | 副校長 | 教 頭 | 教 諭 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|----|
| 1 | 1 | 1 | 30 | 33 |

【松山東雲学園附属幼稚園】 (単位：人)

| 園長※ | 副園長 | 教諭 | 計 |
|-----|-----|----|----|
| (1) | 1 | 11 | 12 |
| ※兼務 | | | |

【松山しなのめ学園附属保育園】 (単位：人)

| 園長※ | 副園長 | 保育士 | 計 |
|-----|-----|-----|---|
| (1) | 1 | 1 | 2 |
| ※兼務 | | | |

② 専任職員 (単位：人)

| 所 属 | 専任職員・嘱託職員 (助手含む) |
|---------------|------------------|
| 法人本部 | 2 |
| 松山東雲女子大学・短期大学 | 35 |
| 松山東雲高等学校・中学校 | 3 |
| 松山東雲学園附属幼稚園 | 1 |
| 合 計 | 41 |

(9) 教職員の概要 [2020(令和2)年5月1日現在]

(単位：人)

| 区分 | 法人本部 | 大 学 | 短期大学 | 高等学校 | 中学校 | 附属幼稚園 | 附属保育園 | 計 | |
|-------------|--------|-----|------|------|-----|-------|-------|----|-----|
| 教 員 等 | 本 務 | 0 | 23 | 22 | 25 | 8 | 12 | 2 | 92 |
| | 兼 務 | 0 | 34 | 53 | 32 | 24 | 9 | 0 | 152 |
| 職 員 | 本 務 | 2 | 16 | 19 | 2 | 1 | 1 | 0 | 41 |
| | 兼 務 | 0 | 18 | 48 | 2 | 8 | 3 | 11 | 90 |
| 計 | | 2 | 91 | 142 | 61 | 41 | 25 | 13 | 375 |

平均年齢 教員46.2才 職員40.2才

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

- ① 卒業の認定に関する方針
- ② 教育課程の編成及び実施に関する方針
- ③ 入学者の受入れに関する方針

ア. 大学

- (ア) 人文科学部 心理子ども学科 子ども専攻

<https://college.shinonome.ac.jp/guide/overview/policy/menu01/>

- (イ) 人文科学部 心理子ども学科 心理福祉専攻

<https://college.shinonome.ac.jp/guide/overview/policy/menu02/>

イ. 短期大学

- (ア) 保育科

<https://college.shinonome.ac.jp/guide/overview/policy/menu03/>

- (イ) 現代ビジネス学科

<https://college.shinonome.ac.jp/guide/overview/policy/menu04/>

- (ウ) 食物栄養学科

<https://college.shinonome.ac.jp/guide/overview/policy/menu05/>

- ④ 教員組織・専任教員数、各教員が有する学位及び業績

ア. 大学

<https://college.shinonome.ac.jp/wp-content/uploads/2020/03/1359.pdf>

イ. 短期大学

<https://college.shinonome.ac.jp/wp-content/uploads/2020/03/1361.pdf>

- ⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画

ア. 大学

<https://syllabus.shinonome.ac.jp/SyllabusWeb/KMLIG0010.aspx>

イ. 短期大学

<https://syllabus.shinonome.ac.jp/SyllabusWeb/KMLIG0012.aspx>

- ⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

ア. 大学

<https://college.shinonome.ac.jp/wp-content/uploads/2020/02/1298.pdf>

<https://college.shinonome.ac.jp/wp-content/uploads/2020/02/1299.pdf>

イ. 短期大学

<https://college.shinonome.ac.jp/wp-content/uploads/2020/02/1296.pdf>

<https://college.shinonome.ac.jp/wp-content/uploads/2020/02/1297.pdf>

(2) 大学・短期大学

[1] 教務

① 教育の質保証

a. 科目ナンバリング制の導入

授業科目の順次性や体系性を構築し、教育体系の可視化を図りました。具体的には、「科目ナンバリング実施の手引」を作成し、各学科・専攻におけるカリキュラムマップ、履修系統図等と対応させながらカリキュラムの点検・改善を行い、より体系的なカリキュラム編成を実現することができました。

b. D P (ディプロマポリシー)到達度評価シートの充実

D P到達度評価シートの活用、運用状況に関する調査を各学科・専攻において実施しました。その結果、学生の自己分析や課題の発見につながっていることや、より客観的な自己評価基準の必要性等の課題が明らかになりました。次年度以降、より客観的な自己分析、評価に活用できるシステム構築を目指して大短共通の様式を作成していきます。

c. 成績評価基準の適正化と平準化

2019年度に作成された大学、短大共通の成績評価基準を履修要覧に記載し、学生にも周知し、より適正な評価が実施されました。2020年度は、Web成績入力時に当該科目の平均G Pの表示、成績認定会議における第三者チェックを実施しました。その結果、教員間の成績評価に関する認識統一が強化され、成績評価の適正化と平

準化が進んできています。次年度以降、引き続き、学生の成長という観点から学修成果の適正な評価と可視化を進めていきます。

d. 遠隔授業の円滑な実施

遠隔授業に関する情報・資料を調査、集約し、学内での共有化を図りました。具体的には、教員・学生を対象に前学期遠隔授業等のアンケート調査を実施し、SD研修会において、振り返りと共有を行いました。また、図書館・情報メディアセンターと協力して、「遠隔授業実施のガイドライン」を作成しました。次年度以降、ガイドラインを活用しながら、さらに効果的な遠隔授業を実施していけるようにします。

[2] 学生支援

① 学生の心身のサポート

大学・短期大学では学生の心身のサポート体制として、保健室とカウンセリングルームを設置しています。

保健室では、以下のサポートを行いました。

- ・定期健康診断（年1回）、「健康状態確認票」に基づく全員面談とサポート
- ・健康相談や応急処置、チャペルアワー内での健康に関するミニ講話、医療機関の紹介
- ・感染症予防等、健康に関する情報発信
- ・「学校医による相談」（随時）、「助産師さんによるからだの相談」（年4回）、「婦人科医師による相談」（年2回）

- ・感染予防を考慮しつつ、個別相談や計測、静養ができるよう、保健室内の環境を整備

カウンセリングルームでは、以下のサポートを行いました。

- ・電話相談（4月～6月：新型コロナウイルス感染拡大防止のための学生が登学しない期間）
- ・「心身の健康カード」に基づくサポート
- ・「校医による心の相談日」（年6回）
- ・本学のカウンセラー（臨床心理士、精神保健福祉士、公認心理師）による「個別相談」
- ・医療機関（心療内科・精神科）利用学生については、主治医との連携
- ・カウンセリングルームだより発行による広報活動
- ・学生用HP内に特設ページ『新型コロナウイルス禍での心のケア』開設
- ・学生向けワークショップ（感染予防対策を講じた上で11月開催）
- ・教職員への学生対応における助言、相談

② 交通安全のサポート

大学・短期大学では、通学手段であるバイクや自転車の交通安全の意識を高めることを目的として、バイク・自転車実技講習を実施していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により2020年度は、昼休みの時間を利用してDVD講習会を実施しました。4日間で約200名の学生が講習会に出席し、出席者たちは、

事故のない通学を目指すために真剣に鑑賞していました。9月には登学時に正門、東門にて交通指導を行いました。また、注意喚起のメールを学生に配信し、交通事故防止に努めました。

また、今まで、本学の学生支援の一環として積極的に実施した「バイク・自転車講習会」や登下校の交通安全教育活動が評価され、令和2年度「愛媛県警察本部長・愛媛県交通安全協会会長連盟表彰（優良学校）」を受賞しました。



③ 学生会活動

学生会は、コロナ禍の中「新しい生活様式」における学生生活を充実かつ有意義なものにするため、学生自らが組織した団体です。2020年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、学生会主催の学生総会はメール審議の形式で行われました。毎年7月に開催した清涼祭の代わりに、「ひろがれ、しののめの森1stシーズン」を実施しました。約120名の教職員・学生の参加があり、2020年度の最初の活動として成功を取めました。毎年11月に開催した東雲祭は感染状況に鑑み、中止となりましたが、リーダシップトレ

ニングを行いました。学生会、教職員の親睦を深めるとともに、来年度に向けた新型コロナウイルス感染防止対策を考慮した「東雲祭」開催方法を模索しました。各班の運営課題や解決方法について話し合いを行い、学生会全体の意識向上に繋がりました。新型コロナウイルスの影響のため自粛することは多くありましたが、感染防止を講じたうえ、新たな学生活動を模索しています。



ひろがれ、しののめの森 1stシーズン：浴衣や甚平を着て参加し、夏気分を味わいました。

- ④ クラブ活動（大学・短期大学ホームページ「Voice」において、ブログ形式で活動状況を随時掲載しています）

7月に予定されていた四国インカレはコロナの影響で中止となりました。対面授業が始まるまでは、各クラブは、classroom による勧誘活動を行いました。対面授業が始まってから、感染状況を確認しながら、感染防止対策を講じたうえでのクラブ・サークル活動を行いました。

また、3月に挙行された卒業式においては、バルーンアートと学生会が協力して、お祝いとして素敵なフォトスポットを製作し、卒業生の好

評を得ました。



A館に設置した、卒業式・フォトスポット

- ⑤ ボランティア活動について

今年度は新型コロナ感染症拡大防止のため、ボランティア活動は自粛となりました。

4月からの学内禁煙に伴い、5、6月は学生支援部の教職員による「大学周辺のタバコ拾い」を行いました。

- ⑥ 国際交流推進事業について

今年度は世界のコロナ感染状況に鑑み、日本人学生の海外派遣は中止となりました。

コロナ禍の中、安心して学生生活を送れるよう、在学留学生に定期的に必要な情報提供をしています。また、日本国内での就職に際しての在留資格変更手続きのフォローも行っていました。

留学生と日本人学生たちとの相互交流をはかる活動「国際交流フレンドシップ制度」では、対面授業が始まってから、カンボジア出身の留学生による「カンボジアの文化」をテーマにした活動を実施しました。カンボジアの民族衣装や食文化、伝統のお祭りの紹介を通して、異文化理解が深まりました。

[3] キャリア支援

① 就職状況

学生一人ひとりとの対話を深め学生自身が納得できる就職活動および進学対策を支援した結果、2021年3月末現在は大学の就職率96.6%（前年度100%）、決定率94.6%（前年度94.7%）、短期大学の就職率97.1%（前年度99.2%）、決定率90.2%（前年度95.3%）でした。なお、未就職であっても就職を希望している卒業生に対しては引き続き支援していきます。

[大学・短期大学就職率・決定率推移表] (％)

| | | 2017.5.1 | 2018.5.1 | 2019.5.1 | 2020.3.31 | 2021.3.31 |
|------|-----|----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 大 学 | 就職率 | 98.7 | 96.7 | 100.0 | 100.0 | 96.6 |
| | 決定率 | 87.6 | 89.9 | 95.7 | 94.7 | 94.6 |
| 短期大学 | 就職率 | 99.7 | 99.7 | 100.0 | 99.2 | 97.1 |
| | 決定率 | 94.8 | 94.2 | 93.7 | 95.3 | 90.2 |

② キャリア支援ガイダンス

就職情報を提供するキャリア支援ガイダンスを大学生は3年次の6月、短期大学生は1年次の6月のオリエンテーションからスタートし、自己分析、目標設定、業界・職種研究、履歴書・自己PRの書き方、OGガイダンス、ビジネスマナー講座などを実施し指導しました。

なお、2018年度から短期大学生を対象に学生が客観的に自分を評価する指標として活用できる基礎力測定ツールPROGを実施し、学生の課題を強化するための就職支援・キャリア支援にもつなげました。

③ インターンシップ研修

インターンシップ研修を「学生が在学中に自らの学科・専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と定義し、「就業体験を通じて専門知識の深化と職業適性の自覚」を目的に「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」が主催するインターンシップ・プログラムを例年実施していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、参加を見送りました。なお、現代ビジネス学科では春季休暇中に「春季インターンシップ研修」を実施しました。

[インターンシップ研修者推移表] (人)

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大 学 | 35 | 14 | 15 | 16 | — |
| 短期大学 | 13 | 18 | 16 | 44 | — |
| 短期大学現代ビジネス学科（春季） | 38 | 57 | 59 | 17 | 53 |

④ キャリアプログラム

公務員を目指す学生のために「公務員ガイダンス」「公務員必勝講座」「公務員受験対策講座（基礎コース・応用コース）」「公務員就職対策模擬試験」「グループディスカッション」を順次実施しました。一般企業を目指す学生のためには「業界・しごと研究」「就活メイク講座」「筆記試験対策講座」「合同企業説明会のまわり方」などを実施しました。

また、「編入学ガイダンス」「大学院ガイダンス」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、やむを得ず中止しましたが、大学へ11名、大学院へ1名が進学しました。

[公務員採用試験合格者推移表]

(人)

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大 学 | 13 | 3 | 4 | 6 | 9 |
| 短期大学 | 9 | 7 | 4 | 4 | 4 |

⑤ 卒業後のサポート

卒業生に対し生涯を通じた活躍支援を行うことを目的として2017年に設置された「しのめ人財バンク」では、再就職の希望がある卒業生へ求人情報を提供し就職相談に応じるだけでなく、社会人入試・社会人講座・学び直し講座、本学で開催される各種イベントなどの案内を定期的に情報配信し卒業生をフォローしています。なお、2021年3月末現在、「しのめ人財バンク」登録者数は前年度比166名増の679名になっています。

⑥ 「しのめプラス」(社会人講座)

「しのめプラス」(社会人講座)は、在学生、卒業生の「東雲力」を育成するために「学び足し」「学び直し」としての正課外学習を支援する講座です。さらに、本学の諸資源を地域社会に活かし、生涯学習を支援するための講座です。講座の内容としては、資格取得支援、語学、暮らしと創造、子育て支援、趣味・芸術、ビジネススキルなど多岐にわたっています。

※「東雲力」は自ら考える力・挑む力・つながる力・やり遂げる力の4つの力とそれぞれを形成する具体的な13の力から構成されています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、開講を見送りました。

[4] 図書・学術情報

① 図書館利用促進

a. ガイダンス

図書館開館を再開した6月から10月にかけて、新入学生対象のオリエンテーションを希望学科・専

攻に実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、実施人数を5名程度に制限し実施回数を増やして行いました。また、新入学生がいつでも図書館利用についての情報を確認できる

よう、学生用ホームページに、新入生オリエンテーションの説明を公開しました。

b. 学生希望図書購入制度

新入生オリエンテーションや読書相談、広報ポスター等を利用し、図書購入希望制度の案内促進を図りました。購入希望図書は、登録後にポスターを作成し学生に所蔵を周知するよう掲示をしました。

c. ブックハンティング

新型コロナウイルス感染症拡大防止により2020年度は開催を見送りました。

d. 企画展示

充実した学生生活が送れるように、「学生生活応援図書」、「レポート・論文の書き方関連図書」、「前年度貸出・閲覧ランキング上位の本」、「文学賞・話題賞を受賞した本」、「クリスマスを楽しむ本」、「人間力UPの本」の展示を行いました。また、附属幼稚園とのコラボ企画「季節のおすすめ絵本」の展示もあわせて行いました。

e. 絵本の対象年齢検索

所蔵絵本が対象年齢で検索できるように整備しました。

f. スタンプカードの導入

図書館資料の貸出や図書館内施設・機器等の利用、図書館企画への参加などで、スタンプを獲得することによってプレゼントを進呈し、学生の図書館利用促進を図りました。

g. 教員との連携による授業の成果発表

授業「読書とコミュニケーション」

」の受講生によるPOPと図書の展示を行いました。

② シラバス参考図書の購入

教員より購入希望のあったシラバス参考図書を購入・登録し、シラバス参考図書棚に配架して学修支援を行いました。

③ 学術雑誌

9月に各学科・専攻等に、学術雑誌（洋・和雑誌）の見直しを依頼し購読選定を行いました。

④ 教材用視聴覚資料申請購入

授業に効果的な映像資料提供を行うため、申請制での購入を実施しました。

⑤ 学術研究成果

愛媛地区大学図書館協議会参加校による愛媛地区共同リポジトリ「IYOKAN」にて、本学大学紀要（第29巻）および短期大学研究論集（第51巻）を公開しました。

⑥ 図書・雑誌の除籍計画を実施

3分類配架所蔵図書をメインに、除籍を行いました。

また、図書館選定雑誌のバックナンバーについても除籍を開始しました。

[5] 情報化

図書館・情報メディアセンターでは、学内の情報システムに関連した様々な業務を取り扱っています。情報システムについては、年次計画を策定

し計画的に更新を行うことで、学生・教職員の利便性の向上、セキュリティの維持に努めています。2020年度はコロナ禍における遠隔授業に緊急対応するため、計画を前倒しして、ネットワーク・サーバー環境の更新を中心に、以下の通り実施しました。

① 情報教室

ア．本館情報教室のパソコン一式を更新。

イ．9月と3月に Windows 10 の2回のアップグレードを実施。

② ネットワーク

ア．学内の基幹 LAN スイッチ設備の増強。

イ．Wi-Fi アクセスポイントの追加設置。

ウ．ファイアウォールの増強。

エ．学生用 Wi-Fi 回線用ルータの増強。

③ サーバー

ア．Moodle 用サーバーの更新。

イ．CentOS 7以前で稼働している Linux サーバーの CentOS 8 へのバージョンアップ。

④ 業務システム

ア．図書館用システムのバージョンアップを実施。

イ．学内限定で提供していた履修登録等の学務系 Web サービスを学外から利用できるよう改修。

ウ．事務用 PC を計画に基づき更新。

⑤ 情報セキュリティ

ア．学内の全端末調査の実施

[6] 連携交流

① 社会連携・地域貢献について

社会連携・地域貢献については、愛媛県、松山市、地域の市町や企業との連携を図り、学生や教職員の活動を通して地域に貢献するため、以下の事業を行いました。

ア．社会連携

a 愛媛県・松山市等との包括協定に基づく連携事業の促進

・愛媛県法人会連合会と「連携に関する包括協定」を締結しました。

2020年7月29日(水)調印式(桑原キャンパス内)

・愛媛経済同友会と「連携に関する包括協定」を締結しました。

2020年8月7日(金)調印式(学外:伊予鉄会館)

b 産官学連携事業の拡充・促進

・研修会・講演会等への講師派遣

地方自治体等から研修会や講演会等の講師として派遣依頼があり、大学・短期大学合わせて約31件派遣しました。

・各種審議会等へ委員派遣

愛媛県教育委員会、松山市社会福祉審議会、松山市景観審議会、愛南町食育推進協議会、ほか各種審議会等の委員として大学・短期大学から委員を派遣しました。

イ．地域貢献

a 桑原地区まちづくり協議会との連携

・桑原地区まちづくり協議会役

員会・総会に出席しました。

- ・2020年2月に締結した「災害用備蓄物資及び物資スペースの管理に関する協定」に基づき、桑原キャンパス体育館に災害用物資を備蓄しました。

b 地域密着型の大学・短大として協働を推進

- ・大学では地域の課題や解決策を考える課題解決型学修において、愛媛県中予地方局や中予地方局管内の久万高原町の協力のもと、学生が解決策等を提案しました。
- ・地域の小学校(桑原小学校)の体験学習の場として、小学生や保護者の受け入れを行い、教職員で対応しました。

[7] 入試

① 入学者選抜説明会・入試相談会・大学見学会・出張講義

本学独自の「入学者選抜説明会」は、新型コロナウイルス感染症拡大により、開催中止となりました。また、「入試相談会」においても、中止・延期が6月まで続いていましたが、7月から感染防止対策を講じ、制限を設けた上で対面形式にて実施されました。また2020年度は、ZOOMを用いたオンライン相談会も実施され、6月以降は対面形式・オンライン形式を並行して実施することができました。

「大学見学会」「出張講義」については、実施校数は減少しましたが、例年参加実績のある県内高校からの依頼があり、実施しました。

| 項目 | 実績 |
|-------------|-----------------------------|
| 訪問相談会(高校開催) | 37(対面:31、 オンライン:6)校(84校) |
| 進学相談会(会場開催) | 22会場(24会場) |
| 大学見学会 | 3校(5校) |
| 出張講義 | 4校(5校) |

※()は昨年度

② 高校訪問・事業所訪問

県内の高校への訪問は、新型コロナウイルス感染症拡大により4月は訪問を控え、5月～10月にかけて訪問の可否を各高校に確認した上、実施しました。1月～3月には、各高校の出願動向を見ながら対象校を絞り、実施しました。県外(高知・香川・徳島の一部)の高校への訪問についても愛媛県内同様、訪問の可否を確認した上で、実施しました。

また、社会人募集を目的とした事業所訪問は今年度で7年目、およそ15の事業所に対し訪問を実施し、社会人オープンキャンパスや個別相談への動員につなげることができました。

③ オープンキャンパス

新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、学科・専攻ごとに時間差で開催しました。参加対象を県内高校3年生のみに制限することで、当初予定していた6月～9月までの計5回に加え、8月の追加開催についても無事開催することが出来ました。11月～2月に予定されていた計3回については、残念ながら中止となりましたが、3月開催の春のオープンキャンパスに関しては開催することができ、本年度制限のため

参加できなかった高校1・2年生に
参加してもらう貴重な機会となりま
した。

- ④ 2021年度入学者選抜の主な変更点
大学入学者選抜改革に伴い、学力
の3要素(①〔主体性・多様性・協調性〕、
②〔思考力・判断力・表現力〕、③〔知識・技能〕)

について、多面的・総合的に評価す
るため、入試区分ごとに、選考方法
の配点や出願書類の活用方法につ
いて検討・審議し、受験生に伝わりや
すい表現で学生募集要項に明記しま
した。大学では、一般選抜において、
英語資格(英検)の活用を取り入れ
ました。

⑤ 2021年度入学試験の結果

大学

| 専攻 | 定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 |
|----------------|-----|-----|-----|-----|
| 心理子ども学科 子ども専攻 | 50 | 97 | 97 | 97 |
| 心理子ども学科 心理福祉専攻 | 60 | 77 | 77 | 73 |
| 合計 | 110 | 174 | 174 | 170 |

大学(3年次編入学)

| 専攻 | 定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 |
|----------------|----|-----|-----|-----|
| 心理子ども学科 子ども専攻 | 5 | 3 | 3 | 3 |
| 心理子ども学科 心理福祉専攻 | 5 | 6 | 6 | 6 |
| 合計 | 10 | 9 | 9 | 9 |

短期大学

| 学科 | 定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 |
|----------|-----|-----|-----|-----|
| 保育科 | 100 | 132 | 132 | 132 |
| 現代ビジネス学科 | 70 | 83 | 83 | 83 |
| 食物栄養学科 | 80 | 77 | 76 | 74 |
| 合計 | 250 | 292 | 291 | 289 |

[8] 広報

2020年度はコロナ禍の中、大会や
イベントの中止、東雲祭やクリスマス
行事の中止により、十分な広報活動が
できない一年となりました。そのよう
な状況で実施できた広報活動につ
いて、以下のとおり報告します。

- ① 学園ホームページを2020年4月
にリニューアルしました。大きな変
更点は、学園内の設置部門ごとにア
ドレスを分けアクセスしやすくした
点と、スマートフォン対応にした点
です。色調を統一し、全体的に明る

く女子大学らしいホームページにな
りました。

- ② 食物栄養学科が取り組む「しのの
めベジガール」が、中国四国農政局
「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」
認定証を授与しました。また、同学
科の「塩ゼミ」が、伯方塩業株式会
社と亀井製菓株式会社の協力のもと
「塩生キャラメル大福」を共同開発、
販売し、地域に対して強くアピール
することができました。

(3) 高等学校・中学校・附属幼稚園・附属 保育園・しのめ広場たんぼ

[1] 高等学校・中学校

2020度の学校目標を「品格・品位を身につけ、しなやかに生きる女性の育成」と定め、ICT機器を活用した授業の展開、生徒の可能性を広げるキャリア教育の充実、松山東雲女子大学・短期大学との連携による大学理解の深化、女子教育を軸とした東雲ブランドを構築するための「女子力向上プログラム」の研究に重点を置いて実践しました。

コロナ禍で5月下旬まで休校や学年別登校が続き、その後も多くの活動が制限される中、行事を精選し、除菌や密を避ける工夫をしながら活動を行いました。

① 教科指導の充実【授業力の向上】

ICT環境の整備に伴い、iPadを活用したおもしろくて分かる授業の実践や、「主体的・対話的で深い学び」の趣旨に沿った授業実践を行うため、校内授業研修を徹底しました。

- (ア) ICT教育の展開 (iPadを活用した研究授業の実施)
- (イ) 研究授業・授業研究の改善 (全教員による研究授業の実施と一人5回以上の授業参観、「自己評価シート」と「授業評価シート」を用いた授業研究、管理職による全授業の参観と指導)
- (ウ) 教員研修の充実 (経験豊富な参与やスクールアドバイザーの講義でスキルアップ)
- (エ) 生徒による授業評価の活用 (年2回)
- (オ) 特別支援教育の充実 (特別支援コーディネーターの指名と組織強化、愛媛大

学等と連携してのケース会議の実施、個別の指導計画の作成、全教員によるクローバーホーム生への計画的な指導の実施)

② 進路指導の充実【生徒の可能性を広げる進路指導】

土曜日を有効に活用するために教育課程を変更して、サタデースクールをスタートさせました。

2021年度入試から導入された「大学入学共通テスト」に迅速に対応し、2021年度から始まる新学習指導要領に円滑に移行できるよう、読解力・発表力・表現力を育成するためのプログラムを実施しました。

- (ア) 中学、高校特進コース、高校進学コースの特色を生かした進路実現のためのサタデースクールの実施 (中学及び高校進学コースは体験的な学習、高校特進コースは補習を中心とした学習)
- (イ) 6年間を見通したキャリア教育の実施 (中学校ではサタデースクールの活用、高1で秘書検定受検、高2・高3で大学・短大教員による出張講座)
- (ウ) 読解力・発表力・表現力育成のプログラム実施 (校内弁論大会、クローバーデイ、スプリングフェスティバルにおけるブックトーク等の発表への参加)
- (エ) 英語力向上への取組 (英語検定を6月、1月に本校を会場として実施、本校主催の中学生英語暗誦コンテスト〔マドンナレシテーションコンテスト〕の実施、各種スピーチコンテストへの参加)

③ 部活動等の活性化【豊かな人間性の育成】

コロナウイルス感染拡大予防のた

めほとんどの大会が中止になりました。実施された大会では多くの部が健闘しました。

(ア) バレーボール部：高校バレー部は、春の高校バレー県大会で5年連続7度目の優勝を果たし、全国大会で1回戦突破。県新人大会で優勝して四国大会準優勝

中学バレー部は、県新人大会優勝、中予地区強化大会ブロック優勝

(イ) アーチェリー部：県選手権大会や県室内選手権大会で中学、高校ともに上位を独占

全国高校選抜大会4位入賞、個人世界ユース選手権大会最終選考会出場

(ウ) サッカー部：全日本U-15フットサル県大会出場

(エ) ゴルフ部：愛媛女子アマチュアゴルフ選手権で準優勝

(オ) 演劇部：総合文化祭で第1位となり四国大会出場

(カ) ハンドベル部：総合文化祭で優秀賞受賞

(キ) 吹奏楽部：アンサンブルコンテスト中予地区予選で4組が金賞、2組が銀賞を受賞し、1組は県大会出場

(ク) 美術部：秋季県展に5人入選するなど、さまざまなコンクールで多数の受賞

④ 高大連携の推進【大学理解の機会提供】

松山東雲女子大学・短期大学との連携を維持強化し、大学・短期大学や職業への理解を深めさせました。

(ア) 松山東雲女子大学・短期大学への進学者は30名で、卒業生の32%です。

(イ) 高校2、3年生で松山東雲女子大学・短期大学教員の出張講義(年間18回実施)

(ウ) 高校1年生全員の秘書検定受検と短大教員による対策講座の開講

⑤ 特色ある学校経営【学校生活の満足度向上】

女子教育を軸とする東雲ブランドの構築のため、「女子力向上プログラム」と銘打って女子校ならではの大会やコンテストに積極的にチャレンジさせました。

(ア) 生徒玄関に女子力向上コーナーを設置して、様々な大会やコンテストを紹介

(イ) 女子校ならではの体育祭、クローバーデー、スプリングフェスティバルの開催

(ウ) 様々な大会やコンテストへの個人やグループでのチャレンジを支援

- ・全日本きもの装いコンテスト中四国地区大会において、学校大会の部で優勝、振袖の部及びカジュアルの部で準優勝。

- ・語り伝えたい美しい日本語暗唱コンテスト高校の部で優秀賞受賞。

- ・松山ユネスコ「心の中に平和」作文コンクールで会長賞受賞。

- ・スノーボード愛媛県大会女子の部で優勝。

- ・2019年度のかるた部復活及び琴同好会の発足に続いて、2020年

度にはビブリオ同好会が発足しました。現在、2021年度の剣道同好会発足に向けて準備をしています。

[2] 附属幼稚園

2020年度は新園舎になって4年が経ちました。子どもたちにとって楽しい魅力のある幼稚園、保護者の皆さまにとっても安心と信頼できる幼稚園として、満三歳児保育の需要の高まりとともに42名の入園がありました。開園以来最高の園児数234名の子どもたちとその保護者が通い、全教職員で力を合わせながら精一杯の保育をしてきました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症と向き合いながら過ごした一年でもありました。三密を避けることが難しい“かかわりあいながら育つ子どもたち”の園生活にできる対策を講じ、共通理解をし、検温や手洗い、消毒を徹底し体調管理に努めました。保護者の方にも、子どもたちの日常の園生活を継続していくためのお願いやご理解、ご協力を得ながら感染防止としました。制限の中での行事もいろいろな知恵を絞り工夫や配慮をして実施しました。叶わないこともたくさんありましたが、今まで当たり前のようにしてきた生活や行事の一つ一つを見直し、子どもたちにとって何が大事なかを考える一年にもなりました。

- ① 教職員の人員構成の充実について
教諭採用制度の見直しをし、契約教諭2名が定年制への移行が出来ました。正規雇用2名の教諭の確保もできました。今後も人員構成の充

実をはかります。預かり保育においても定年制教諭の配置を検討しており、人事計画のもと継続して人間味豊かな人材確保をしていきます。

また、たんぼぼ事務職員採用により事務2名の協力体制を整えました。預かり保育の管理システムの作成ができ、効率化につながりました。さらにICT化の補助金申請を活用したので管理システムの構築を予定しています。

② 教職員の質の向上について

コロナ禍の日々、より一層子どもの話や保護者への対応等を伝えあった一年でした。行事等についても見直しをしたことは保育観を共有する大切な時間となりました。こうした時間に多くを割いたため、勉強会は計画通り実施することが難しい状況でした。研修会のほとんどは中止となりリモートによる研修会への参加を試みました。

③ 子ども自身が「遊びを生み出す」環境づくりについて

一年を通して、園内には四季折々の草花を植え、野菜を育てました。虫や生き物、小動物に触れ合うことができる自然環境を引き続き大切にしてきました。子どもたちは、実体験を通して不思議さや命の尊さ、感動する心が育まれています。砂・土・水・粘土・えのぐ等の素材体験は、心の開放となり自由にのびのびと表現できる子どもたちに育っています。

④ 子どもと保護者との信頼関係づくりについて

2020年度の始まりは、安全で安心な園生活の確保でした。保護者の方々に感染予防対策をお伝えし、ご理解とご協力を求めました。大きな変化として園内への大人の出入りを制限し、門でのインターホン対応や分散方式の降園としました。おもな行事は、運動会を“子どもの運動会”としたことやクリスマス礼拝・祝会を縮小し、年長組の保護者1名の参加に限らせていただきました。子どもたちの様子をお伝えするために保護者会役員さんのご協力を得て、全家庭にDVDの配布をしました。長期欠席の子どもたちには、電話で連絡を取り合い、関係をつないできました。「園内に入れないので園での子どもの様子がわからない」といった声も聞かれ、お迎えの時や連絡帳でより一層、一人一人との丁寧なかわりを心掛けた一年でした。



満三歳児：友だちと大きな山をつくりました。友だちと一緒に遊ぶ楽しさが伝わってきます。



卒園式：感染予防対策を取り、初めてチャペルで年長組70名を送りました。

[3] 附属保育園

① コロナ禍での保育

開園3年目を迎え、昨年度初めて実施した行事の見直しもこれからという時でしたが、新型コロナウイルス感染症への対策として、春の遠足、参観週間、運動会、あしあと展を中止したほか、水遊びを縮小したり、学生や幼稚園の園児との交わりを制限したりしました。また、保護者の園舎への立入も控えたので、日ごろの生活を伝えるために子どもの生活の写真などの掲示を増やし、お迎えの折にその日の様子をこまめに伝えるなどして、保護者に安心してもらえるよう工夫をしました。幸いにも感染者を出すことなく今年度を終えましたが、一つひとつが手探りの1年となりました。次年度も気を緩めず対策をしていきたいと思えます。



春の遠足はできなかつたけれど、秋に芝生でお弁当を食べました。

② 子どもの育ちを支える

8月末に2歳児5名が幼稚園に移行、0歳児、1歳児クラスに9、10月と途中入園の子どもたちを4名迎えました。一人ひとりと向き合いながら、安心して園生活が送れるよう、情報を交換しながら進めてきました。また、関奉仕財団からの助成で絵本、紙芝居などを購入し、いろいろな絵本に触れたり紙芝居を一緒に見たりする機会を増やしました。3月27日には、第1回卒園式を行い、初めての卒園児3名を無事に送りだし、2年半の子どもたちの育ちを保護者と共に喜び合う時となりました。



「おおきなかぶ」の絵本をイメージしたようです。「うんこしょ、どっこいしょ」と先生を引っぺりました。

③ 保育の質の向上

8月に松山市、12月には公益財団法人児童育成協会の立入調査があり、重大事故への日頃の備え等の助言をもらいました。感染防止のため研修会に出かけたり勉強会を開いたりする機会がほとんど持てないなか、職員会の在り方を工夫し、eラーニングや、感染対策を行った上で開催される研修を選んで参加しました。今後も保育者の学びの場を考えていきたいと思います。

9月末の保育士の退職に伴い、定員の園児を入園させることが難しくなり、3月末の園児数は15人でした。次年度は2022年度に繋がる保育士を確保し、安定して問い合わせの園児を入園に結び付けられるようにしたいと願っています。

[4] しののめ広場たんぼぼ

しののめ広場たんぼぼは、松山市からの補助を受けて月曜日から金曜日（祝日を除く）の10時から15時まで主に0歳児から3歳児までのお子様とその保護者が集い、出会い、学び合い、支え合う場を提供しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため5月末まで休所し、6月1日から感染対策を実施したうえで、予約制で午前、午後に各3組までの親子を受入れています。

また、2020年度の「しののめ保育・幼児教育講演会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しましたが、その代わりとして、前年度に開催した講演会「子どもの成長に果たす絵本の役割—今こそ大人も子ども

といっしょに絵本を読もうー」(講師
松山東雲短期大学 元教授 吉村真理子先生)
で配布されたレジュメをインターネッ

ト上で発信しています。

2020年度の子育て支援に関するイベ
ントの実施状況は以下のとおりです。

| No. | 月 日 | 講 習 名 (講 師 名) | 参加人数等 |
|-----|--------|--|-------|
| 1 | 11月14日 | 第1回子育て相談会「離乳食と幼児食のあるある相談室」 (短大教員 曾我 郁恵/女子大教員 影浦 紀子) | 4組 |
| 2 | 11月17日 | チューリップの球根を植えよう (たんぼぼスタッフ) | 3組 |
| 3 | 12月5日 | 第2回子育て相談会「子どもの行動の「なぜ？」がわかると子育てが 楽しくなる？」 (女子大教員 友川 礼/女子大教員 影浦 紀子) | 6組 |
| 4 | 2月20日 | 第3回子育て相談会「我が子のちょっと気になる行動」 (短大教員 岡田 恵/女子大教員 鏡原 崇史) | 5組 |

(4) 中長期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

ア 大学

<https://college.shinonome.ac.jp/guide/disclosure/official/shugakushien/manu01/>

イ 短期大学

<https://college.shinonome.ac.jp/guide/disclosure/official/shugakushien/menu02/>

(5) 主な事業

ア 特別予算事業

(ア) 大学・短期大学

- ・本館南内装工事(床・壁貼替)
- ・B館、D館のLED照明器具取替工事

(イ) 附属幼稚園

- ・幼稚園内部改修工事

イ 修学上の情報等【大学・短期大学HPを参照】

- ・教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する事
- ・授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関する事
- ・学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する事

ること

(6) 自己点検評価

[1] 松山東雲女子大学

○認証評価機関〔日本高等教育評価機構〕

- ・2017年3月10日付「大学評価基準適合」認定

[2] 松山東雲短期大学

○認証評価機関〔財団法人 短期大学基準協会〕

- ・2017年3月10日付「適格認定証」受理

(7) その他

○初年度納付金について (2020年度年額)

(単位：円)

| | 入学金 | 授業料 | 施設設備費 | 実習等費 | 教育充実費 | 合計 |
|--------|---------|---------|---------|--------|--------|-----------|
| 大学 | 250,000 | 650,000 | 250,000 | 10,000 | 0 | 1,160,000 |
| 短期大学 | | | | | | |
| 保育 | 230,000 | 550,000 | 250,000 | 32,000 | 0 | 1,062,000 |
| 現代ビジネス | 230,000 | 550,000 | 250,000 | 32,000 | 0 | 1,062,000 |
| 食物栄養 | 230,000 | 550,000 | 250,000 | 37,000 | 0 | 1,067,000 |
| 高等学校 | 30,000 | 396,000 | 50,000 | 0 | 0 | 476,000 |
| 中学校 | 30,000 | 360,000 | 100,000 | 0 | 0 | 490,000 |
| 附属幼稚園 | 25,000 | 276,000 | 42,000 | 0 | 42,000 | 385,000 |
| 附属保育園 | | | | | | |
| 従業員枠 | 0 | 480,000 | 0 | 0 | 0 | 480,000 |
| 地域枠 | 0 | 504,000 | 0 | 0 | 0 | 504,000 |

3. 財務の概要

(1) 2020年度決算概要

本学園における財務の基本的な方針は、日本私立学校振興・共済事業団の「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」の判定が「A3段階（経常収支差額が3か年のうち2か年以上黒字）」となることを必達目標としています。

2020年度は、大学、短大の授業料等減免費交付金や新型コロナウイルス感染症対策補助金等の交付がありました。また、新型コロナウイルス感染症のため、予定されていた事業の中止等に伴い出張旅費や光熱水費等が減少しました。これにより経常収支差額が約1億9,600万円の収入超過となりました。また、経常収支差額を経常収入（教育活動収入計+教育活動外収入計）で除した値が11.8%（経常収支差額比率）となり、結果として必達目標を1ランク上げた「A2段階」となりました。

2020年度の決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表）の概要につきましては、次のとおりです。

① 資金収支計算書

2020年度につきましては、当初予算編成の時点（2020年3月）では収入・支出の確定できない事業計画等（収入では新型コロナウイルス感染症対策補助金、私立学校情報機器整備費補助金等、支出では遠隔授業用情報機器整備費等）があり、3月に補正予算を編成したことにより、概ね予算差異の少ない決算となっております。

資金収支は、収入の部合計から前年度繰越支払資金を差し引いた実質的

な資金収入が約17億4,100万円、支出の部合計から翌年度繰越支払資金を差し引いた実質的な資金支出が約15億2,900万円で2020年度末の現金預金残高は約14億4,200万円となっております。

活動区分資金収支は、学校法人の本業である教育研究活動における資金収支差額が、約4億2,100万円の収入超過となっております。また、施設整備等活動における収入は、私立学校情報機器整備費補助金収入等で約1,000万円、施設整備等活動における支出は、幼稚園内装改修工事、教室パソコン整備費、遠隔授業用情報機器整備費等で約3,000万円、施設拡充及び減価償却引当特定資産への繰入で約1億9,600万円となっており、施設整備等活動における資金収支差額は、約2億2,400万円の支出超過となっております。

教育活動による資金収支差額、施設整備等による資金収支差額及びその他の活動による資金収支差額を加えた、2020年度1年間の支払資金は約2億1,100万円増加しました。翌年度繰越支払資金は約14億4,200万円となり、本学が目安としている4億円を超えており、年度初めにおいて本学の運営に必要な資金量を十分確保しています。

② 事業活動収支計算書

事業活動収支は、学生生徒等納付金や補助金などの教育活動による収入が約16億4,200万円、人件費、教育研究経費などの教育活動による支出が約14億6,800万円、収入から支出を差し引いた教育活動収支差額は約1億7,400万円の収入超過となります。受

取利息などの教育活動外による収入は約2,600万円、借入金利息などの教育活動外による支出が約400万円で教育活動外収支差額が約2,200万円の収入超過となります。

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた経常収支差額は1億9,600万円の収入超過となり、結果として必達目標を1ランク上げた「A2段階」となりました。

また、施設整備の寄付金、補助金等の特別収入が約1,500万円、備品、図書を除却に伴う現金の動きを伴わない固定資産処分差額の特別支出が約500万円で特別収支差額は、約1,000万円の収入超過となります。

経常収支差額に特別収支差額を加算した基本金組入前当年度収支差額は、約2億600万円の収入超過となります。また、建物の改修、備品の取得、借入金返済に係る基本金の組入れ（学校法人会計基準で定められた考え方で現金の支出は伴わない）を行った後の当年度収支差額は約1億7,300万円の収入超過となりました。

③ 貸借対照表

資産の部では、施設拡充引当特定資産及び減価償却引当特定資産の繰入れによる資産の増と、建物等の減価償却及び備品、図書の除却に伴う資産の減を合せて、固定資産が約1,000万円減少しました。また、出張旅費や光熱水費等の減少に伴う現金預金の増により、流動資産が約1億9,500万円増加しました。資産の部全体としては、約1億8,500万円の増加となりました。

負債の部では、長期借入金を短期借

入金に振替えたことや退職給与引当金の再計算を行った結果、固定負債が約4,100万円減少し、流動負債を合わせた負債の部全体としては、約2,100万円減少しました。

純資産の部の内、基本金は建物の改修、備品の取得、施設関係の借入金返済に係る第1号基本金の組入れより約3,300万円増加しました。

結果として、翌年度繰越収支差額は、前年度末より約1億7,300万円（当年度収支差額）増加し、約36億5,900万円の支出超過となりますが、これは主に現金の支出を伴わない基本金組入額の累積という学校法人特有の会計処理を行っている為です。

2020年度

(2) 資金収支計算書

2020年 4月 1日から
2021年 3月 31日まで

(単位：千円)

| 収 入 の 部 | | | | | 支 出 の 部 | | | | |
|-------------|-----------|-----------|----------|----------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------|-----------------------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 | 備 考 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 | 備 考 |
| 学生生徒等納付金収入 | 1,058,287 | 1,057,614 | 673 | | 人件費支出 | 870,719 | 866,346 | 4,373 | |
| 手数料収入 | 15,194 | 14,957 | 237 | | 教育研究経費支出 | 358,866 | 345,148 | 13,718 | 光熱水費、旅費交通費等の減少 |
| 寄付金収入 | 7,370 | 11,194 | △ 3,824 | | 管理経費支出 | 63,985 | 57,787 | 6,198 | |
| 補助金収入 | 453,934 | 458,501 | △ 4,567 | | 借入金等利息支出 | 3,883 | 3,882 | 1 | |
| 資産売却収入 | 0 | 100 | △ 100 | | 借入金等返済支出 | 28,440 | 28,440 | 0 | |
| 付随事業・収益事業収入 | 48,955 | 51,915 | △ 2,960 | | 施設関係支出 | 3,399 | 3,399 | 0 | |
| 受取利息・配当金収入 | 18,280 | 26,475 | △ 8,195 | 為替レート（豪ドル）の上昇に伴う増加 | 設備関係支出 | 28,303 | 26,924 | 1,379 | |
| 雑収入 | 78,296 | 79,472 | △ 1,176 | | 資産運用支出 | 196,743 | 196,743 | 0 | |
| 前受金収入 | 234,926 | 238,424 | △ 3,498 | | その他の支出 | 5,974 | 5,973 | 1 | |
| その他の収入 | 130,566 | 142,451 | △ 11,885 | 預り金受入収入(修学旅行費積立金)の増加 | [予備費] | (3,684) 46,316 | 46,316 | 46,316 | 施設関係支出3,399千円、その他の支出285千円充当 |
| 資金収入調整勘定 | △ 335,113 | △ 340,014 | 4,901 | | 資金支出調整勘定 | △ 4,892 | △ 5,017 | 125 | |
| 前年度繰越支払資金 | 1,231,339 | 1,231,339 | 0 | ① | 翌年度繰越支払資金 | 1,340,298 | 1,442,801 | △ 102,503 | ③ |
| 収入の部合計 | 2,942,034 | 2,972,428 | △ 30,394 | ② | 支出の部合計 | 2,942,034 | 2,972,428 | △ 30,394 | ④ |

※千円未満の端数については、四捨五入しているため、合計等の金額が計算上一致しない場合があります。

(3) 活動区分資金収支計算書

2020年 4月 1日から
2021年 3月 31日まで

(単位：千円)

| | | 科 目 | 金 額 | 備 考 |
|---------------------|--------|---------------------|-----------|-----|
| 教育活動による資金収支 | 収 入 | 学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入 | 1,057,614 | |
| | | 手 数 料 収 入 | 14,957 | |
| | | 特 別 寄 付 金 収 入 | 8,864 | |
| | | 一 般 寄 付 金 収 入 | 226 | |
| | | 経 常 費 等 補 助 金 収 入 | 449,915 | |
| | | 付 随 事 業 収 入 | 51,915 | |
| | | 雑 収 入 | 79,472 | |
| | | 教 育 活 動 資 金 収 入 計 | 1,662,962 | ① |
| 支 出 | | 人 件 費 支 出 | 866,346 | |
| | | 教 育 研 究 経 費 支 出 | 345,148 | |
| | | 管 理 経 費 支 出 | 57,787 | |
| | | 教 育 活 動 資 金 支 出 計 | 1,269,282 | ② |
| 差 引 | | 393,680 | | |
| 調 整 勘 定 等 | | 27,507 | ⑩ | |
| 教 育 活 動 資 金 収 支 差 額 | | 421,186 | ③ (①-②+⑩) | |

(単位：千円)

| | | 科 目 | 金 額 | 備 考 |
|-----------------------------|-----------|----------------|-----------|-----|
| 施設整備等活動による資金収支 | 収 入 | 施設設備寄付金収入 | 2,104 | |
| | | 施設設備補助金収入 | 8,586 | |
| | | 施設設備売却収入 | 100 | |
| | | 施設整備等活動資金収入計 | 10,790 | ④ |
| | 支 出 | 施設関係支出 | 3,399 | |
| | | 設備関係支出 | 26,924 | |
| | | 施設拡充引当特定資産繰入支出 | 150,000 | |
| | | 減価償却引当特定資産繰入支出 | 46,743 | |
| | | 施設整備等活動資金支出計 | 227,066 | ⑤ |
| | 差 引 | △ 216,276 | | |
| 調 整 勘 定 等 | △ 8,586 | ⑪ | | |
| 施設整備等活動資金収支差額 | △ 224,862 | ⑥ (④-⑤+⑪) | | |
| 小計 (教育活動収支差額+施設整備等活動資金収支差額) | | 196,325 | ⑦ (③+⑥) | |
| その他の活動による資金収支 | 収 入 | 貸付金回収収入 | 3,908 | |
| | | 預り金受入収入 | 16,943 | |
| | | 仮払金回収収入 | 439 | |
| | | 受取利息・配当金収入 | 26,475 | |
| | | その他の活動資金収入計 | 47,765 | |
| | 支 出 | 借入金等返済支出 | 28,440 | |
| | | 仮受金支払支出 | 285 | |
| | | 借入金等利息支出 | 3,882 | |
| | | その他の活動資金支出計 | 32,607 | |
| | 差 引 | 15,158 | | |
| 調 整 勘 定 等 | △ 21 | | | |
| その他の活動資金収支差額 | 15,137 | ⑧ | | |
| 支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額) | | 211,462 | ⑨ (③+⑥+⑧) | |
| 前 年 度 繰 越 支 払 資 金 | | 1,231,339 | | |
| 翌 年 度 繰 越 支 払 資 金 | | 1,442,801 | | |

※千円未満の端数については、四捨五入しているため、合計等の金額が計算上一致しない場合があります。

(4) 事業活動収支計算書

2020年 4月 1日から
2021年 3月 31日まで

(単位：千円)

| | | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 | 備 考 |
|-------------|-----------|---------------|-----------|-----------|---------|---------|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 1,058,287 | 1,057,614 | 673 | |
| | | 手 数 料 | 15,194 | 14,957 | 237 | |
| | | 寄 付 金 | 6,370 | 9,090 | △ 2,720 | |
| | | 経 常 費 等 補 助 金 | 447,732 | 449,915 | △ 2,183 | |
| | | 付 随 事 業 収 入 | 48,955 | 51,915 | △ 2,960 | |
| | | 雑 収 入 | 58,765 | 58,977 | △ 212 | |
| | | 教育活動収入計 | 1,635,303 | 1,642,468 | △ 7,165 | ① |
| | | 事業活動支出の部 | 事業活動支出の部 | 人 件 費 | 836,848 | 832,408 |
| 教育研究経費 | 587,809 | | | 574,263 | 13,546 | |
| 管 理 経 費 | 67,744 | | | 61,719 | 6,025 | |
| 徴 収 不 能 額 等 | 0 | | | 0 | 0 | |
| 教育活動支出計 | 1,492,401 | | | 1,468,389 | 24,012 | ② |
| 教育活動収支差額 | | 142,902 | 174,078 | △ 31,176 | ③ (①-②) | |
| 教育活動外収支 | 取事業の活動の部 | 受取利息・配当金 | 18,280 | 26,475 | △ 8,195 | |
| | | 教育活動外収入計 | 18,280 | 26,475 | △ 8,195 | ④ |
| | 支事業の活動の部 | 借入金等利息 | 3,883 | 3,882 | 1 | |
| | | 教育活動外支出計 | 3,883 | 3,882 | 1 | ⑤ |
| | 教育活動外収支差額 | | 14,397 | 22,593 | △ 8,196 | ⑥ (④-⑤) |
| 経常収支差額 | | 157,299 | 196,672 | △ 39,373 | ⑦ (③+⑥) | |

(単位：千円)

| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 科目 | 予算 | 決算 | 差異 | 備考 |
|---------------|----------|----------------|-------------|----------|---------|----|
| | | 資産売却差額 | 0 | 100 | △ 100 | |
| | | その他の特別収入 | 7,202 | 15,033 | △ 7,831 | |
| | | 特別収入計 | 7,202 | 15,133 | △ 7,931 | ⑧ |
| 特別支出の部 | 事業活動支出の部 | 資産処分差額 | 5,155 | 5,154 | 1 | |
| | | その他の特別支出 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 特別支出計 | 5,155 | 5,154 | 1 | ⑨ |
| 特別収支差額 | | 2,047 | 9,979 | △ 7,932 | ⑩ (⑧-⑨) | |
| 〔 予 備 費 〕 | | (93) 49,907 | | 49,907 | | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | 109,439 | 206,651 | △ 97,212 | ⑪ | |
| 基本金組入額合計 | | △ 29,995 | △ 33,049 | 3,054 | ⑫ | |
| 当年度収支差額 | | 79,444 | 173,602 | △ 94,158 | ⑬ (⑪+⑫) | |
| 前年度繰越収支差額 | | △ 3,833,410 | △ 3,833,410 | 0 | | |
| 基本金取崩額 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 翌年度繰越収支差額 | | △ 3,753,966 | △ 3,659,808 | △ 94,158 | | |

(参考)

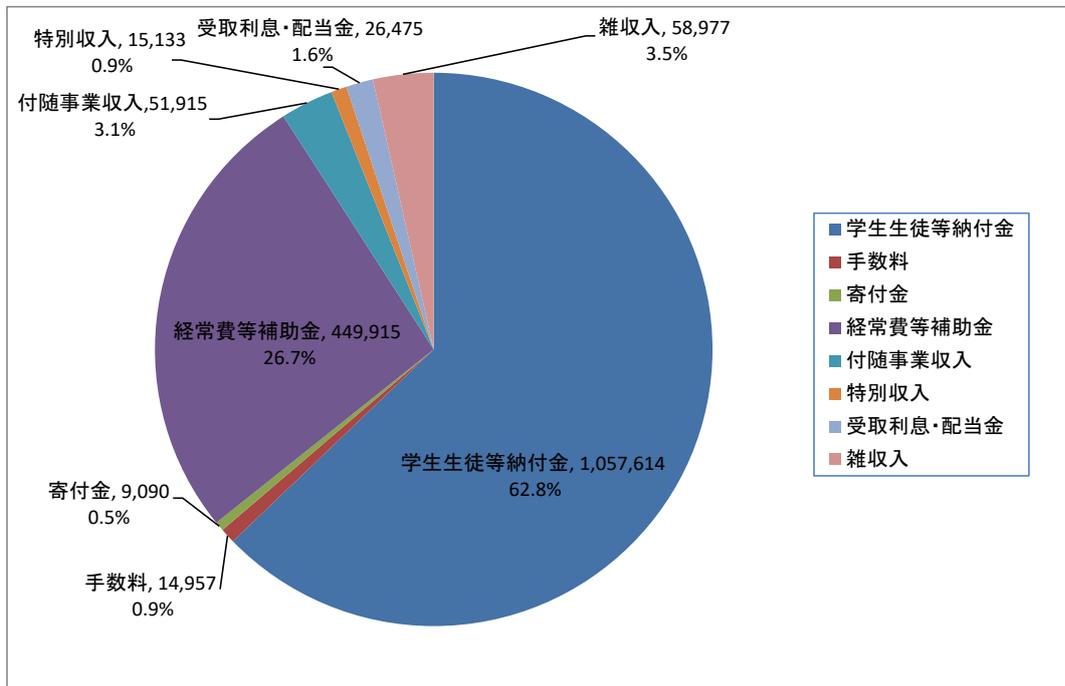
| | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|--|
| 事業活動収入計 | 1,660,785 | 1,684,076 | △ 23,291 | |
| 事業活動支出計 | 1,551,346 | 1,477,425 | 73,921 | |

※千円未満の端数については、四捨五入しているため、合計等の金額が計算上一致しない場合があります。

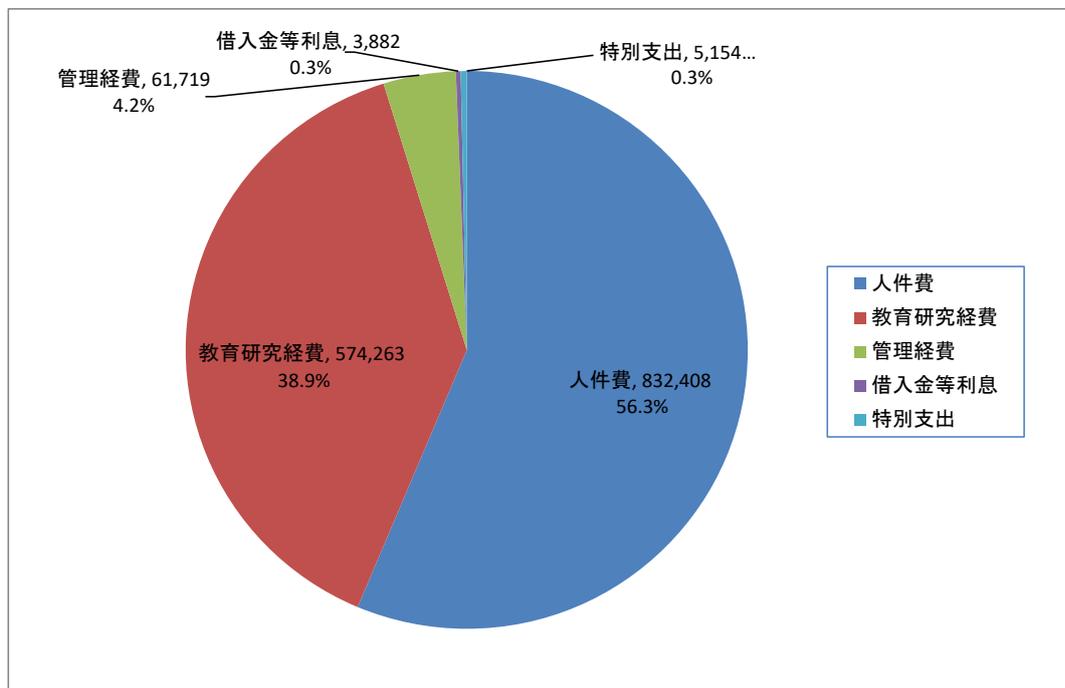
(5) 事業活動収支の構成比率

事業活動収入16.8億円の構成比率

(単位:千円)



事業活動支出14.7億円の構成比率



(6) 貸借対照表 [2021年3月31日]

施設拡充及び減価償却引当特定資産の繰入に伴う増加

A. 資産の部

(単位：千円)

| No. | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 差異 |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 | 固定資産 | 7,110,531 | 7,121,229 | △ 10,698 |
| | 有形固定資産 | 6,341,899 | 6,545,433 | △ 203,534 |
| | 土地 | 655,685 | 655,685 | 0 |
| | 建物 | 4,773,742 | 4,956,409 | △ 182,667 |
| | その他の有形固定資産 | 912,472 | 933,339 | △ 20,867 |
| | 特定資産 | 292,751 | 96,008 | ↓ 196,743 |
| | その他の固定資産 | 475,881 | 479,789 | △ 3,908 |
| 2 | 流動資産 | 1,549,463 | 1,353,644 | 195,819 |
| | 現金預金 | 1,442,801 | 1,231,339 | ↑ 211,462 |
| | その他の流動資産 | 106,662 | 122,304 | △ 15,642 |
| 3 | 資産の部合計 | 8,659,994 | 8,474,873 | 185,121 |

長期借入金から短期借入金への振替、退職給与引当金の再計算

支出の減少に伴う現金預金の増

B. 負債の部

(単位：千円)

| No. | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 差異 |
|-----|----------|-----------|-----------|----------|
| 1 | 固定負債 | 816,871 | 858,756 | △ 41,885 |
| | 長期借入金 | 142,200 | 170,640 | △ 28,440 |
| | その他の固定負債 | 674,671 | 688,116 | △ 13,445 |
| 2 | 流動負債 | 366,038 | 345,683 | 20,355 |
| | 短期借入金 | 28,440 | 28,440 | 0 |
| | その他の流動負債 | 337,598 | 317,243 | 20,355 |
| 3 | 負債の部合計 | 1,182,909 | 1,204,439 | △ 21,530 |

建物及び備品取得、借入金返済に係る基本金組入に伴う増

C. 純資産の部

(単位：千円)

| No. | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 差異 |
|-----|-----------|-------------|-------------|----------|
| 1 | 基本金 | 11,136,893 | 11,103,844 | 33,049 |
| | 第1号基本金 | 10,971,552 | 10,938,503 | ↓ 33,049 |
| | 第3号基本金 | 57,341 | 57,341 | 0 |
| | 第4号基本金 | 108,000 | 108,000 | 0 |
| 2 | 繰越収支差額 | △ 3,659,808 | △ 3,833,410 | 173,602 |
| | 翌年度繰越収支差額 | △ 3,659,808 | △ 3,833,410 | 173,602 |
| 3 | 純資産の部合計 | 7,477,085 | 7,270,434 | 206,651 |

D. 負債及び純資産の部合計

(単位：千円)

| No. | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 差異 |
|-----|-------------|-----------|-----------|---------|
| 1 | 負債及び純資産の部合計 | 8,659,994 | 8,474,873 | 185,121 |

※千円未満の端数については、四捨五入しているため、合計等の金額が計算上一致しない場合があります。

(7) 財 産 目 録

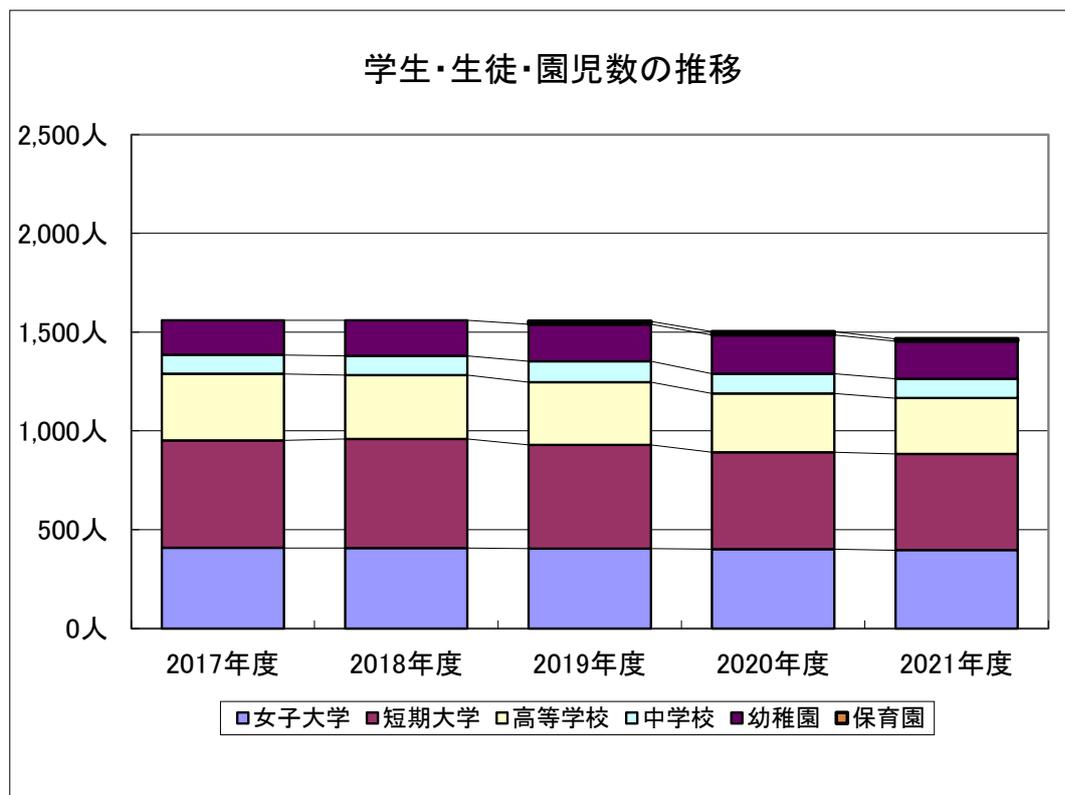
| | | |
|----------|-----------------|-----------------|
| I 資産総額 | 8,723,111,100 円 | 8,532,785,947 円 |
| 内 基本財産 | 6,341,899,221 円 | 6,545,432,778 円 |
| 運用財産 | 2,318,094,882 円 | 1,929,440,229 円 |
| 収益事業用財産 | 63,116,997 円 | 57,912,940 円 |
| II 負債総額 | 1,182,909,009 円 | 1,204,438,946 円 |
| III 正味財産 | 7,540,202,091 円 | 7,328,347,001 円 |

| 科 目 | 2021(令和3)年3月31日現在 | | 2020(令和2)年3月31日現在 | |
|------------------|--------------------------|-----------------|--------------------------|-----------------|
| | 数 量 | 金 額 | 数 量 | 金 額 |
| 一 資産額 | | | | |
| (一) 基本財産 | | | | |
| 1 土地 | | | | |
| 桑原校地 | 33,058.00 m ² | 436,353,576 円 | 33,058.00 m ² | 436,353,576 円 |
| 大街道校地 | 27,776.77 m ² | 219,331,349 円 | 27,776.77 m ² | 219,331,349 円 |
| 計 | 60,834.77 m ² | 655,684,925 円 | 60,834.77 m ² | 655,684,925 円 |
| 2 建物 | 33,954.09 m ² | 4,773,742,410 円 | 33,954.09 m ² | 4,956,408,710 円 |
| 3 構築物 | 75 件 | 222,517,363 円 | 74 件 | 246,407,223 円 |
| 4 教具・校具・備品 | 20,821 点 | 138,430,687 円 | 20,563 点 | 131,991,125 円 |
| 5 図書 | 201,350 冊 | 551,523,536 円 | 202,755 冊 | 554,940,495 円 |
| 6 車両 | 3 台 | 300 円 | 3 台 | 300 円 |
| 基本財産 合計 | | 6,341,899,221 円 | | 6,545,432,778 円 |
| (二) 運用財産 | | | | |
| 1 現金預金 | 37 件 | 1,442,801,108 円 | 36 件 | 1,231,339,466 円 |
| 2 積立金 | | | | |
| 第3号基本金引当特定資産 | 2 件 | 57,340,885 円 | 2 件 | 57,340,885 円 |
| 施設拡充引当特定資産 | 5 件 | 150,000,000 円 | 2 件 | 0 円 |
| 減価償却引当特定資産 | 3 件 | 85,409,682 円 | 1 件 | 38,666,682 円 |
| 計 | 10 件 | 292,750,567 円 | 5 件 | 96,007,567 円 |
| 3 有価証券 | 4 件 | 350,020,685 円 | 4 件 | 350,020,685 円 |
| 4 電話加入権 | 23 件 | 1,690,904 円 | 23 件 | 1,690,904 円 |
| 5 施設利用権 | 2 件 | 18,670,980 円 | 2 件 | 18,670,980 円 |
| 6 収益事業元入金 | 1 件 | 63,470,000 円 | 1 件 | 63,470,000 円 |
| 7 差入保証金 | 2 件 | 3,180,000 円 | 2 件 | 3,180,000 円 |
| 8 長期貸付金 | 1 件 | 38,848,488 円 | 1 件 | 42,756,488 円 |
| 9 未収入金 | 35 件 | 105,957,540 円 | 25 件 | 121,161,009 円 |
| 10 仮払金 | 3 件 | 704,610 円 | 3 件 | 1,143,130 円 |
| 運用財産 合計 | | 2,318,094,882 円 | | 1,929,440,229 円 |
| 合計 ((一)+(二)) | | 8,659,994,103 円 | | 8,474,873,007 円 |
| (三) 収益事業用財産 | | | | |
| 1 建物 | | 10,418,906 円 | | 10,909,849 円 |
| 2 構築物 | | 100 円 | | 100 円 |
| 3 預ケ金 | | 52,697,991 円 | | 47,002,991 円 |
| 収益事業用財産 合計 | | 63,116,997 円 | | 57,912,940 円 |
| 合計 ((一)+(二)+(三)) | | 8,723,111,100 円 | | 8,532,785,947 円 |

| 科 目 | 2021(令和3)年3月31日現在 | | 2020(令和2)年3月31日現在 | |
|------------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| | 数 量 | 金 額 | 数 量 | 金 額 |
| 二 負債額 | | | | |
| 1 固定負債 | | | | |
| (1)長期借入金 | | | | |
| 日本私立学校振興・共済事業団 | 1 件 | 142,200,000 円 | 1 件 | 170,640,000 円 |
| (2)退職給与引当金 | 97 件 | 674,671,201 円 | 98 件 | 688,115,509 円 |
| 2 流動負債 | | | | |
| (1)短期借入金 | | | | |
| 日本私立学校振興・共済事業団 | 1 件 | 28,440,000 円 | 1 件 | 28,440,000 円 |
| (2)前受金 | 26 件 | 238,424,000 円 | 26 件 | 234,056,000 円 |
| (3)預り金 | 16 件 | 94,157,169 円 | 16 件 | 77,214,025 円 |
| (4)未払金 | 3 件 | 5,016,639 円 | 3 件 | 5,688,412 円 |
| (5)仮受金 | 0 件 | 0 円 | 1 件 | 285,000 円 |
| 合 計 | | 1,182,909,009 円 | | 1,204,438,946 円 |
| 正味財産 (資産総額－負債総額) | | 7,540,202,091 円 | | 7,328,347,001 円 |

(8) 経年比較資料

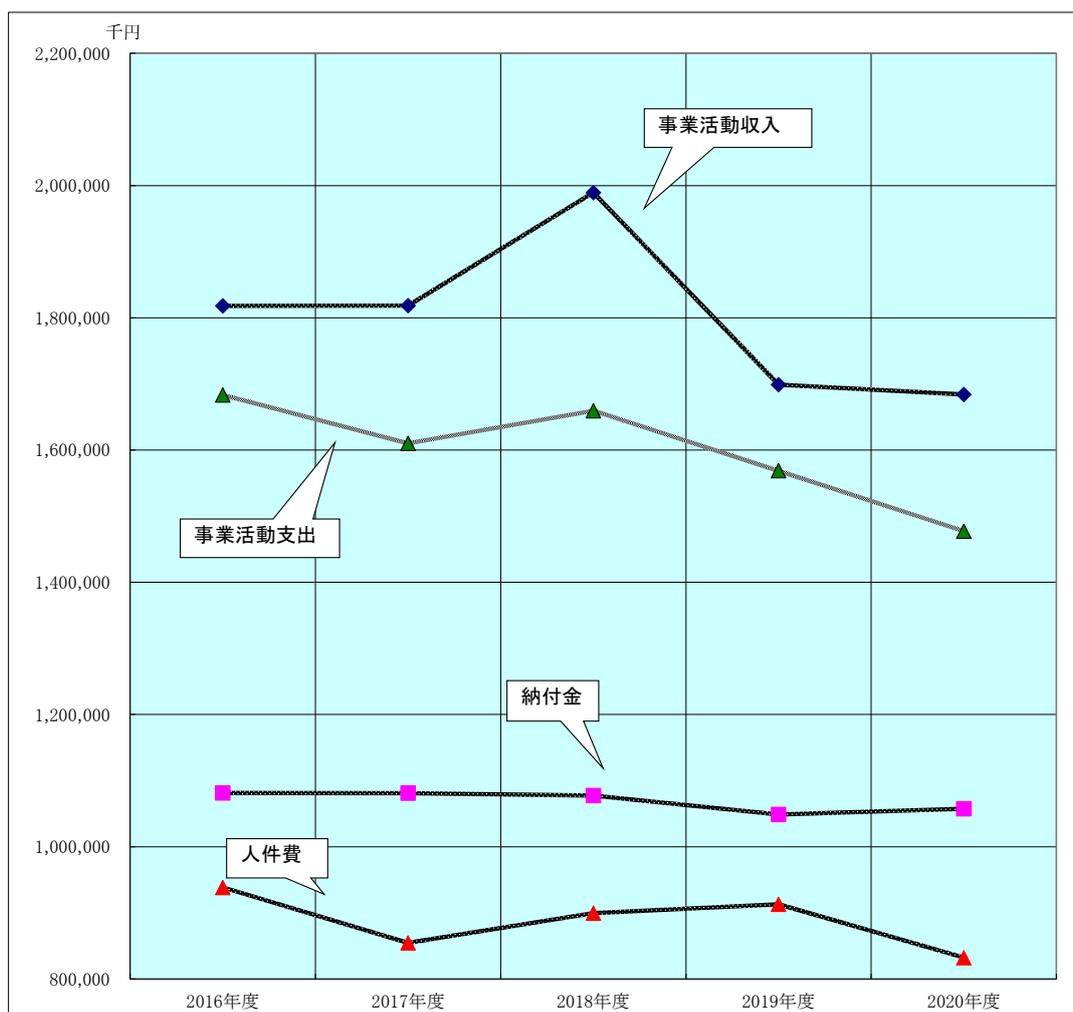
[1] 学生・生徒・園児数の推移



| | 2017年度 平成29年度 | 2018年度 平成30年度 | 2019年度 令和元年度 | 2020年度 令和2年度 | 2021年度 令和3年度 |
|---------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 女子大学 | 408人 | 407人 | 404人 | 401人 | 396人 |
| 趨勢率 (%) | 100.0 | 99.8 | 99.0 | 98.3 | 97.1 |
| 短期大学 | 543人 | 552人 | 525人 | 491人 | 487人 |
| 趨勢率 (%) | 100.0 | 101.7 | 96.7 | 90.4 | 89.7 |
| 高等学校 | 338人 | 323人 | 317人 | 297人 | 283人 |
| 趨勢率 (%) | 100.0 | 95.6 | 93.8 | 87.9 | 83.7 |
| 中学校 | 96人 | 97人 | 106人 | 100人 | 98人 |
| 趨勢率 (%) | 100.0 | 101.0 | 110.4 | 104.2 | 102.1 |
| 幼稚園 | 175人 | 180人 | 188人 | 196人 | 190人 |
| 趨勢率 (%) | 100.0 | 102.9 | 107.4 | 112.0 | 108.6 |
| 保育園 | — | — | 15人 | 17人 | 12人 |
| 趨勢率 (%) | — | — | 100.0 | 113.3 | 80.0 |
| 合計 | 1,560人 | 1,559人 | 1,555人 | 1,502人 | 1,466人 |
| 趨勢率 (%) | 100.0 | 99.9 | 99.7 | 96.3 | 94.0 |

※各年度5月1日現在

[2] 学園財務推移資料



| 科目 | 年度 | 2016年度 平成28年度 | | 2017年度 平成29年度 | | 2018年度 平成30年度 | | 2019年度 令和元年度 | | 2020年度 令和2年度 | |
|---------------------------------|-----------|-------------------|-----------|------------------|-----------|------------------|-----------|-----------------|-----------|-----------------|-----------|
| | | 金額 | 趨勢率 | 金額 | 趨勢率 | 金額 | 趨勢率 | 金額 | 趨勢率 | 金額 | 趨勢率 |
| | | A. 事業活動収入計 | 1,818,131 | 100.00% | 1,818,328 | 100.01% | 1,989,496 | 109.43% | 1,698,834 | 93.44% | 1,684,076 |
| 内、学生生徒等納付金 | 1,081,294 | 100.00% | 1,080,965 | 99.97% | 1,077,284 | 99.63% | 1,048,674 | 96.98% | 1,057,614 | 97.81% | |
| B. 事業活動支出計 | 1,683,182 | 100.00% | 1,610,106 | 95.66% | 1,659,477 | 98.59% | 1,568,695 | 93.20% | 1,477,425 | 87.78% | |
| 内、人件費 | 938,521 | 100.00% | 854,525 | 91.05% | 899,643 | 95.86% | 912,841 | 97.26% | 832,408 | 88.69% | |
| C. 基本金組入前収支 差額 (A-B) | 134,949 | | 208,222 | | 330,019 | | 130,140 | | 206,651 | | |
| 学生・生徒・園児数 | 1,549 | | 1,560 | | 1,559 | | 1,555 | | 1,502 | | |

[3] 収支状況及び財務比率推移資料

① 資金収支計算書関係

ア 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：円)

| 収入の部 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 学生生徒等納付金収入 | 1,081,294,030 | 1,080,964,580 | 1,077,284,200 | 1,048,674,418 | 1,057,613,610 |
| 手数料収入 | 18,197,280 | 17,002,450 | 14,697,580 | 15,607,090 | 14,956,880 |
| 寄付金収入 | 19,832,783 | 20,294,134 | 14,876,105 | 10,132,080 | 11,194,300 |
| 補助金収入 | 563,024,092 | 642,783,554 | 754,521,489 | 471,890,619 | 458,500,875 |
| 資産売却収入 | 0 | 86,690 | 0 | 0 | 100,000 |
| 付随事業・収益事業収入 | 25,855,864 | 28,130,125 | 34,215,525 | 44,726,476 | 51,914,605 |
| 受取利息・配当金収入 | 19,760,171 | 16,210,964 | 19,375,973 | 13,378,684 | 26,475,347 |
| 雑収入 | 87,477,259 | 11,617,996 | 78,067,417 | 123,719,405 | 79,471,525 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 254,061,100 | 243,025,100 | 218,409,700 | 234,056,000 | 238,424,000 |
| その他の収入 | 433,940,259 | 844,299,693 | 508,460,669 | 380,982,052 | 142,450,673 |
| 資金収入調整勘定 | △ 367,317,227 | △ 459,145,271 | △ 602,873,919 | △ 339,570,709 | △ 340,013,540 |
| 前年度繰越支払資金 | 806,727,648 | 1,054,983,573 | 1,222,068,537 | 676,345,905 | 1,231,339,466 |
| 収入の部合計 | 2,942,853,259 | 3,500,253,588 | 3,339,103,276 | 2,679,942,020 | 2,972,427,741 |

(単位：円)

| 支出の部 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 人件費支出 | 959,068,328 | 859,085,024 | 940,150,342 | 966,753,190 | 866,346,485 |
| 教育研究経費支出 | 355,330,761 | 355,089,448 | 426,598,363 | 319,197,308 | 345,148,110 |
| 管理経費支出 | 80,909,464 | 82,556,005 | 72,221,832 | 74,090,983 | 57,787,418 |
| 借入金等利息支出 | 6,767,780 | 5,673,780 | 5,076,540 | 4,479,300 | 3,882,060 |
| 借入金等返済支出 | 51,320,000 | 28,440,000 | 28,440,000 | 28,440,000 | 28,440,000 |
| 施設関係支出 | 331,301,436 | 455,902,070 | 1,134,290,015 | 1,648,492 | 3,399,000 |
| 設備関係支出 | 29,764,931 | 21,951,740 | 56,824,388 | 14,512,739 | 26,923,787 |
| 資産運用支出 | 65,143,495 | 468,849,418 | 0 | 38,666,682 | 196,743,000 |
| その他の支出 | 13,200,090 | 5,107,599 | 4,738,723 | 6,502,272 | 5,973,412 |
| 資金支出調整勘定 | △ 4,936,599 | △ 4,470,033 | △ 5,582,832 | △ 5,688,412 | △ 5,016,639 |
| 翌年度繰越支払資金 | 1,054,983,573 | 1,222,068,537 | 676,345,905 | 1,231,339,466 | 1,442,801,108 |
| 支出の部合計 | 2,942,853,259 | 3,500,253,588 | 3,339,103,276 | 2,679,942,020 | 2,972,427,741 |

イ 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：円)

| 科目 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 教育活動による資金収支 | | | | | |
| 教育活動資金収入計 | 1,751,389,308 | 1,632,786,539 | 1,658,619,316 | 1,712,911,088 | 1,662,961,795 |
| 教育活動資金支出計 | 1,395,308,553 | 1,296,144,727 | 1,438,952,537 | 1,360,041,481 | 1,269,282,013 |
| 差引 | 356,080,755 | 336,641,812 | 219,666,779 | 352,869,607 | 393,679,782 |
| 調整勘定等 | △ 5,127,439 | 43,997,240 | △ 72,762,649 | △ 17,812,610 | 27,506,696 |
| 教育活動資金収支差額 | 350,953,316 | 380,639,052 | 146,904,130 | 335,056,997 | 421,186,478 |
| 施設整備等活動による資金収支 | | | | | |
| 施設整備活動資金収入計 | 44,292,000 | 636,942,408 | 611,926,364 | 1,839,000 | 10,790,000 |
| 施設整備活動資金支出計 | 361,066,367 | 689,593,679 | 1,191,114,403 | 54,827,913 | 227,065,787 |
| 差引 | △ 316,774,367 | △ 52,651,271 | △ 579,188,039 | △ 52,988,913 | △ 216,275,787 |
| 調整勘定等 | 240,218,000 | △ 123,482,000 | △ 105,628,000 | 273,402,000 | △ 8,586,000 |
| 施設整備活動資金収支差額 | △ 76,556,367 | △ 176,133,271 | △ 684,816,039 | 220,413,087 | △ 224,861,787 |
| 小計（教育活動資金収支差額＋施設整備活動資金収支差額） | 274,396,949 | 204,505,781 | △ 537,911,909 | 555,470,084 | 196,324,691 |
| その他の活動による資金収支 | | | | | |
| その他の活動資金収入計 | 97,360,251 | 253,973,512 | 25,974,507 | 34,511,917 | 47,765,011 |
| その他の活動資金支出計 | 123,501,275 | 291,980,079 | 33,803,230 | 33,838,740 | 32,607,060 |
| 差引 | △ 26,141,024 | △ 38,006,567 | △ 7,828,723 | 673,177 | 15,157,951 |
| 調整勘定等 | 0 | 585,750 | 18,000 | △ 1,149,700 | △ 21,000 |
| その他の活動資金収支差額 | △ 26,141,024 | △ 37,420,817 | △ 7,810,723 | △ 476,523 | 15,136,951 |
| 支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額） | 248,255,925 | 167,084,964 | △ 545,722,632 | 554,993,561 | 211,461,642 |
| 前年度繰越支払資金 | 806,727,648 | 1,054,983,573 | 1,222,068,537 | 676,345,905 | 1,231,339,466 |
| 翌年度繰越支払資金 | 1,054,983,573 | 1,222,068,537 | 676,345,905 | 1,231,339,466 | 1,442,801,108 |

ウ 財務比率の経年比較

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2019年度 全国平均 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 教育活動資金収支差額比率 | 20.0% | 23.3% | 8.9% | 19.6% | 25.3% | 14.4% |

② 事業活動収支計算書関係

ア 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：円)

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 事業活動収入の部 | | | | | |
| 学生生徒等納付金 | 1,081,294,030 | 1,080,964,580 | 1,077,284,200 | 1,048,674,418 | 1,057,613,610 |
| 手数料 | 18,197,280 | 17,002,450 | 14,697,580 | 15,607,090 | 14,956,880 |
| 寄付金 | 19,832,783 | 20,061,834 | 14,336,105 | 8,293,080 | 9,090,300 |
| 経常費等補助金 | 518,732,092 | 475,009,554 | 440,018,489 | 471,890,619 | 449,914,875 |
| 付随事業収入 | 25,855,864 | 28,130,125 | 34,215,525 | 44,726,476 | 51,914,605 |
| 雑収入 | 87,282,416 | 11,617,996 | 70,027,244 | 89,061,124 | 58,977,390 |
| 教育活動収入計 | 1,751,194,465 | 1,632,786,539 | 1,650,579,143 | 1,678,252,807 | 1,642,467,660 |
| 事業活動支出の部 | | | | | |
| 人件費 | 938,521,366 | 854,524,993 | 899,642,579 | 912,841,061 | 832,408,042 |
| 教育研究経費 | 536,355,766 | 538,389,493 | 622,857,908 | 548,871,493 | 574,262,571 |
| 管理経費 | 81,827,560 | 82,771,008 | 72,963,386 | 77,737,945 | 61,718,565 |
| 徴収不能額等 | 0 | 584,400 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動支出計 | 1,556,704,692 | 1,476,269,894 | 1,595,463,873 | 1,539,450,499 | 1,468,389,178 |
| 教育活動収支差額 | 194,489,773 | 156,516,645 | 55,115,270 | 138,802,308 | 174,078,482 |
| 事業活動収入の部 | | | | | |
| 受取利息・配当金 | 19,760,171 | 16,210,964 | 19,375,973 | 13,378,684 | 26,475,347 |
| その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収入計 | 19,760,171 | 16,210,964 | 19,375,973 | 13,378,684 | 26,475,347 |
| 事業活動支出の部 | | | | | |
| 借入金利息 | 6,767,780 | 5,673,780 | 5,076,540 | 4,479,300 | 3,882,060 |
| その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外支出計 | 6,767,780 | 5,673,780 | 5,076,540 | 4,479,300 | 3,882,060 |
| 教育活動外収支差額 | 12,992,391 | 10,537,184 | 14,299,433 | 8,899,384 | 22,593,287 |
| 経常収支差額 | 207,482,164 | 167,053,829 | 69,414,703 | 147,701,692 | 196,671,769 |
| 事業活動収入の部 | | | | | |
| 資産売却差額 | 0 | 81,490 | 0 | 0 | 100,000 |
| その他の特別収入 | 47,176,614 | 169,249,182 | 319,540,871 | 7,202,734 | 15,033,385 |
| 特別収入計 | 47,176,614 | 169,330,672 | 319,540,871 | 7,202,734 | 15,133,385 |
| 事業活動支出の部 | | | | | |
| 資産処分差額 | 119,710,200 | 127,576,945 | 58,918,433 | 24,764,802 | 5,154,121 |
| その他の特別支出 | 0 | 585,750 | 18,000 | 0 | 0 |
| 特別支出計 | 119,710,200 | 128,162,695 | 58,936,433 | 24,764,802 | 5,154,121 |
| 特別収支差額 | △ 72,533,586 | 41,167,977 | 260,604,438 | △ 17,562,068 | 9,979,264 |

| | | | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 〔予備費〕 | | | | | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 134,948,578 | 208,221,806 | 330,019,141 | 130,139,624 | 206,651,033 |
| 基本金組入額合計 | △ 285,067,414 | △ 176,350,929 | △ 916,976,357 | △ 31,274,636 | △ 33,049,000 |
| 当年度収支差額 | △ 150,118,836 | 31,870,877 | △ 586,957,216 | 98,864,988 | 173,602,033 |
| 前年度繰越収支差額 | △ 3,549,069,762 | △ 3,607,188,598 | △ 3,345,317,721 | △ 3,932,274,937 | △ 3,833,409,949 |
| 基本金取崩額 | 92,000,000 | 230,000,000 | 0 | 0 | 0 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 3,607,188,598 | △ 3,345,317,721 | △ 3,932,274,937 | △ 3,833,409,949 | △ 3,659,807,916 |
| (参考) | | | | | |
| 事業活動収入計 | 1,818,131,250 | 1,818,328,175 | 1,989,495,987 | 1,698,834,225 | 1,684,076,392 |
| 事業活動支出計 | 1,683,182,672 | 1,610,106,369 | 1,659,476,846 | 1,568,694,601 | 1,477,425,359 |

イ 財務比率の経年比較

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2019年度 全国平均 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 人件費比率 | 53.0% | 51.8% | 53.9% | 54.0% | 49.9% | 53.2% |
| 教育研究経費比率 | 30.3% | 32.6% | 37.3% | 32.4% | 34.4% | 33.5% |
| 管理経費比率 | 4.6% | 5.0% | 4.4% | 4.6% | 3.7% | 8.9% |
| 事業活動収支差額比率 | 7.4% | 11.5% | 16.6% | 7.7% | 12.3% | 4.7% |
| 基本金組入後収支比率 | 109.8% | 98.1% | 154.7% | 94.1% | 89.5% | 107.0% |
| 学生生徒等納付金比率 | 61.1% | 65.6% | 64.5% | 62.0% | 63.4% | 75.1% |
| 経常寄付金比率 | 1.1% | 1.2% | 0.9% | 0.5% | 0.5% | 1.4% |
| 経常補助金比率 | 29.3% | 28.8% | 26.3% | 27.9% | 27.0% | 12.0% |
| 基本金組入率 | 15.7% | 9.7% | 46.1% | 1.8% | 2.0% | 10.9% |
| 経常収支差額比率 | 11.7% | 10.1% | 4.2% | 8.7% | 11.8% | 4.2% |
| 教育活動収支差額比率 | 11.1% | 9.6% | 3.3% | 8.3% | 10.6% | 2.6% |

③ 貸借対照表関係

ア 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：円)

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 固定資産 | 6,759,479,577 | 6,694,804,326 | 7,336,023,704 | 7,121,229,402 | 7,110,530,845 |
| 流動資産 | 1,193,161,300 | 1,427,067,308 | 1,036,483,414 | 1,353,643,605 | 1,549,463,258 |
| 資産の部合計 | 7,952,640,877 | 8,121,871,634 | 8,372,507,118 | 8,474,873,007 | 8,659,994,103 |
| 固定負債 | 1,000,356,978 | 967,356,947 | 906,449,357 | 858,755,509 | 816,871,201 |
| 流動負債 | 350,230,409 | 344,239,391 | 325,763,324 | 345,683,437 | 366,037,808 |
| 負債の部合計 | 1,350,587,387 | 1,311,596,338 | 1,232,212,681 | 1,204,438,946 | 1,182,909,009 |
| 基本金の部合計 | 10,209,242,088 | 10,155,593,017 | 11,072,569,374 | 11,103,844,010 | 11,136,893,010 |
| 繰越収支差額 | △ 3,607,188,598 | △ 3,345,317,721 | △ 3,932,274,937 | △ 3,833,409,949 | △ 3,659,807,916 |
| 純資産の部合計 | 6,602,053,490 | 6,810,275,296 | 7,140,294,437 | 7,270,434,061 | 7,477,085,094 |
| 負債及び純資産の部合計 | 7,952,640,877 | 8,121,871,634 | 8,372,507,118 | 8,474,873,007 | 8,659,994,103 |

イ 財務比率の経年比較

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2019年度全 国平均 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 基本金比率 | 97.3% | 97.5% | 98.0% | 98.2% | 98.5% | 97.2% |
| 固定比率 | 102.4% | 98.3% | 102.7% | 97.9% | 95.1% | 98.7% |
| 固定資産構成比率 | 85.0% | 82.4% | 87.6% | 84.0% | 82.1% | 86.7% |
| 有形固定資産構成比率 | 71.4% | 71.9% | 81.0% | 77.2% | 73.2% | 59.6% |
| 特定資産構成比率 | 10.6% | 4.4% | 0.7% | 1.1% | 3.4% | 22.4% |
| 流動資産構成比率 | 15.0% | 17.6% | 12.4% | 16.0% | 17.9% | 13.3% |
| 運用資産余裕比率(年) | 1.1 | 1.1 | 0.5 | 1.0 | 1.3 | 1.9 |
| 流動比率 | 340.7% | 414.6% | 318.2% | 391.6% | 423.3% | 251.8% |
| 前受金保有率 | 415.2% | 502.9% | 309.7% | 526.1% | 605.1% | 348.8% |
| 総負債比率 | 17.0% | 16.1% | 14.7% | 14.2% | 13.7% | 12.2% |
| 積立率 | 39.3% | 40.3% | 22.4% | 36.6% | 43.5% | 78.5% |

※運用資産余裕比率の単位は(年)です。

(3) その他

① 有価証券の状況

| 種 類 | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 | 備 考 |
|--------------------|---------------|---------------|--------------|-----|
| 時価が貸借対照表計上額を超えるもの | 353,117,116 | 423,717,956 | 70,600,840 | |
| (うち満期保有目的の債券) | (314,450,434) | (377,237,956) | (62,787,522) | |
| 時価が貸借対照表計上額を超えないもの | 92,911,136 | 53,120,000 | △ 39,791,136 | |
| (うち満期保有目的の債券) | (0) | (0) | (0) | |
| 合 計 | 446,028,252 | 476,837,956 | 30,809,704 | |
| (うち満期保有目的の債券) | (314,450,434) | (377,237,956) | (62,787,522) | |
| 時価のない有価証券 | 0 | | | |
| 有価証券合計 | 446,028,252 | | | |

② 借入金の状況

| 借入先 | 期末残高 | 利 率 | 返済期限 | 備 考 |
|----------------|-------------|-------|------------|-----|
| 日本私立学校振興・共済事業団 | 170,640,000 | 2.10% | 2026年9月15日 | |

4. 監事監査報告書

2021年5月31日

学校法人 松山東雲学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事 森 正康 印

監事 成松 勲 印

私ども監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人松山東雲学園寄附行為第9条第2項の規定に基づき、2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の学校法人の業務、財産の状況及び計算書類等、すなわち事業報告書、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）及び財産目録について監査を行いました。

その結果を以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法の概要

2020年度に開催された理事会、評議員会に出席し、理事長から業務の執行の報告を聴取したほか、重要な決裁書類等を閲覧し、学校法人の運営全般及び財産の状況を調査しました。

また、えひめ有限責任監査法人の指定有限責任社員である丸木公介公認会計士からは2021年5月20日に監査の報告及び説明を受け、計算書類等につき検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、事業報告書、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）及び財産目録の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況及び財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する事実は認められません。

以上